

# シンプルになったシスコ ソフトウェアの操作



スマート ソフトウェア ライセンスおよびス  
マート アカウント

---

**FAQ |** パートナー、ディストリビュータ  
およびお客様向け

## 目次

### [1. スマート アカウント](#)

#### [1.1. スマート アカウントの概要](#)

#### [1.2. スマート アカウントの作成と管理](#)

#### [1.3. 中堅・中小企業のお客様向け制限付きスマート アカウント](#)

### [2. スマートライセンス](#)

#### [2.1. スマートライセンスの概要：スマートライセンスと従来型ライセンス](#)

#### [2.2. CCW でのスマートライセンスの発注](#)

#### [2.3. Smart Software Manager \(SSM\) でのスマートライセンスの管理](#)

#### [2.4. Smart Software Manager オンプレミス](#)

#### [2.5. お客様に代わってスマートライセンスを管理する](#)

#### [2.6. サービスプロバイダーとしてのライセンスの管理](#)

#### [2.7. Cisco One 用スマートライセンスおよびスマート アカウント](#)

#### [2.8. 特定のライセンスの予約 \(SLR\)](#)

### [3. 新しいライセンシングの方式：Smart Licensing Using Policy \(SLP\)](#)

#### [3.1. Smart Licensing Using Policy](#)

#### [3.2. 輸出規制ソフトウェア](#)

#### [3.3. Smart Software Manager \(SSM\) オンプレミスサーバ](#)

#### [3.4. Cisco DNA Center での Smart Licensing Using Policy](#)

### [4. その他のリソース](#)

#### [4.1. トレーニングリソースと追加情報](#)

## [5. プライバシーおよびデータ保護](#)

[5.1. スマート アカウント：プライバシーとデータ保護](#)

[5.2. スマート ソフトウェア ライセンスおよびスマート アカウント プライバシー データ シート](#)

## 1. スマート アカウント

### 1.1. スマート アカウントの概要

#### 1.1.1. スマートアカウントとは何ですか。

カスタマー スマート アカウントは、スマートライセンス、一部の従来型（PAK ベース）ライセンス、エンタープライズ アグリーメント情報、およびスマート対応製品を保管することができるアカウントです。スマート アカウントには、カスタマー スマート アカウントとパートナー ホールディング スマート アカウントの 2 種類があります。カスタマー スマート アカウントにより、**Smart Software Manager (SSM)** でライセンスの管理、ライセンスの使用状況の監視、シスコのライセンス購入の追跡が可能になります。パートナー ホールディング スマート アカウントでは、エンドカスタマーのスマート アカウントが識別されるまで、スマートライセンスの注文を一時的にデポジットできます。

#### 1.1.2. スマート アカウントはいつ必要ですか。

**CCW** でスマートライセンス対応製品の注文を送信するには、すべてのライセンスにスマートアカウントが割り当てられている必要があります。スマート アカウントが必須の製品には、ラインごとに「SA」アイコンと「スマートアカウントが必要」という赤字のメッセージが表示されます。

#### 1.1.3. スマートデバイスと非スマートデバイスの違いは何ですか。

違いは、ソフトウェア機能用に提供されるライセンスのタイプ（例：**PAK** 対スマートライセンス）、ライセンスが使用されるポータル（例：**LRP** 対 **SSM**）、およびデバイスの設定方法（例：従来の構成対スマートライセンスと **Smart Call Home**）です。

従来のライセンスのほとんどはスマートライセンスに変換できることに注意してください。

#### 1.1.4. カスタマー スマート アカウントとは何ですか。

カスタマー スマート アカウントは、スマート ライセンスがデポジットされ、スマート対応製品が登録されているアカウントで、お客様は所有しているものと使用しているものについての可視性が得られます。スマート製品を購入するすべてのお客様は、ライセンスを使用するためにこのアカウントが必要です。自分用にライセンスを購入および使用するパートナーには、カスタマー スマート アカウントも必要です。カスタマー スマート アカウントはお客様が直接管理することも、指定されたチャネルパートナーや認可された組織が管理することもできます。

#### 1.1.5. パートナー ホールディング スマート アカウントとは何ですか。

パートナー ホールディング スマート アカウントは、エンドカスタマーのスマート アカウントが特定されるまで、スマート ライセンス製品を含むスマート ライセンス対応の注文を一時的に保留できるアカウントです。販売後、リセラーは、ライセンスを消費する前にこれらの注文をエンドカスタマーのスマート アカウントにデポジットする必要があります。パートナー ホールディング スマート アカウントでライセンスを利用することはできません。すべてのパートナーおよびディストリビュータは、パートナー ホールディング スマート アカウントを作成する必要があります。

### 1.1.6. カスタマー スマート アカウントとパートナー ホールディング アカウントの違いは何ですか。

ソフトウェアライセンスは、カスタマー スマート アカウントに割り当てられた場合にのみ使用（消費）できます。パートナー ホールディング アカウントのライセンスを表示または管理することはできません。

お客様は、スマート アカウント内にあるバーチャルアカウント間でライセンスを自由に移動できますが、スマート アカウント間では移動できません。合併または買収、再編成、納品ミスなどの理由で、スマート アカウント間でライセンスを移動する必要が生じた場合は、シスコのサポートが必要になるため、[japan-tac@cisco.com](mailto:japan-tac@cisco.com) または [Support Case Manager](#)（SCM）からケースをオープンしてください。

パートナー ホールディング アカウントのライセンスは、カスタマーアカウントまたは別のパートナー ホールディング アカウントに移動できます（多層ディストリビューションの場合）。製品をパートナー ホールディング アカウントに登録したり、パートナー ホールディング アカウントからライセンスを使用したりすることはできません。

ライセンスは、発注プロセスの一環として、どちらのタイプのスマート アカウントにも割り当てることができます。ただし、ソフトウェアライセンスは、お客様が使用（消費）するために、最終的にカスタマー スマート アカウントに割り当てる必要があります。

### 1.1.7. バーチャル アカウントとは何ですか。

お客様とパートナーが内部的にライセンスを整理するために使用できるスマート アカウントのサブセットです。この組織は、企業固有のニーズに合うように柔軟に設計されています。パートナーは、地域、オファー、またはパートナーグループのパートナー ホールディング バーチャル アカウントを作成でき、お客様は、自社の部門を反映するためにカスタマーバーチャル アカウントを作成できます。

たとえば、**BigU.edu** がお客様の包括的なスマート アカウントである場合、**BigU.edu Physics Dept.**（**BigU** の物理学部が保有するすべてのライセンスをデポジットするバーチャルアカウント）を作成できます。この例では、バーチャル アカウントは、**BigU** を使用して、部門レベルでライセンスの使用状況を追跡するために使用されます。スマート アカウントを作成すると、対応するデフォルトのバーチャル アカウントが同時に自動作成されます。パートナー ホールディング スマート アカウントおよびカスタマー スマート アカウント用の追加のバーチャル アカウントは、**CSC (Cisco Software Central)** で作成されます。

### 1.1.8. ネストされたバーチャル アカウントとは何ですか。

ネストされたバーチャル アカウントは、既存のバーチャル アカウントの下に「ネスト」されたサブバーチャル アカウントです。このオプションにより、お客様は複数レベルのバーチャル アカウント（最大 10 レベルのバーチャルアカウント）を作成できます。

スマート アカウント内に新しいバーチャル アカウントを作成する場合は、トップレベルで作成するか、既存のバーチャル アカウントの下にネストするかを選択できます。

ネストされたバーチャル アカウントにより、スマート アカウント管理者は個々のバーチャル アカウント管理者を割り当てることができます。バーチャル アカウント管理者は、バーチャル アカウント内に追加のバーチャル アカウントを作成できます。これにより、お客様とパートナーは簡単にバーチャル アカウントを作成できるようになります。

資産を分類して整理するための階層。ネストされたバーチャル アカウントの使用の詳細については、バーチャル アカウントに関する[最新のビデオ](#)をご覧ください。

新しいバーチャル アカウントを作成する方法の詳細については、このQRG：[スマート アカウント内での新しいバーチャル アカウントの作成](#)を参照してください。

### 1.1.9. バーチャル アカウントの名前を変更するとどうなりますか。これは、利用中ライセンスと共にそこに置かれたデバイスに影響しますか。

デバイスやライセンスへの影響はありません。バーチャル アカウント名はユーザインターフェイスの表示属性であり、システムは非表示のバーチャル アカウント ID を使用して動作します。

### 1.1.10. SSM オンプレミスのローカル スマート アカウントへの接続に関して、バーチャル アカウントの名前を変更すると影響はありますか。

VA 名はユーザインターフェイスの表示属性であり、システムは非表示のバーチャル アカウント ID を使用して動作します。

### 1.1.11. カスタマー スマート アカウントとパートナー ホールディング スマート アカウントはいつ必要ですか。

シスコ製品を再販するすべてのパートナーおよびディストリビュータは、パートナー ホールディング スマート アカウントを作成する必要があります。パートナーがコンシューマとしても機能し、自社用に製品を購入する場合は、カスタマー スマート アカウントも必要です。両方のアカウントは、Cisco Software Central の 1 回限りの設定プロセスで設定できます。

### 1.1.12. スマートアカウントはどこで作成しますか。

- カスタマー スマート アカウントを作成するには、シスコアカウントにご登録の E メールアドレスを使用して [Cisco Software Central \(software.cisco.com\)](https://software.cisco.com) にログインし、カスタマー スマート アカウントの申請を開始します。
- パートナー ホールディング スマート アカウントを作成するには、シスコアカウントにご登録の E メールアドレスを使用して [Cisco Software Central](https://software.cisco.com) にログインし、パートナー ホールディング アカウントの申請を開始します。
- CCW で注文する際に、いずれかのタイプのスマートアカウントのリクエストを開始することもできます。ただし、推奨されるベストプラクティスは、スマート アカウントを事前に作成することです。

### 1.1.13. スマート アカウントのオンボーディングプロセスとは何ですか。

お客様は、シスコアカウントにご登録の E メールアドレスとパスワードを使用して、Cisco Software Central (software.cisco.com) にログインする必要があります。その後で [スマートアカウントのリクエスト (Request a Smart Account)] をクリックします。お客様は、スマート アカウントを直接要求して有効化することも、会社の別の人物を指名してスマート アカウントを設定することもできます。スマート アカウントの設定中に、お客様は会社名と本社住所を入力する必要があります。さらに、スマート アカウント承認者

および管理者を追加できます。[アカウント要求の概要 (Account Request Summary)] を表示した後、お客様は [アカウントの作成 (Create Account)] をクリックします。

- パートナーは、エンドカスタマーに代わってスマート アカウントのアクティベーションを開始することもできます (上記と同じスマート アカウント リクエスト プロセスを使用)。

詳細については、次のオンデマンド トレーニング モジュールをご覧ください。

- [シスコ ソフトウェア スマート アカウント および パートナー と ディストリビュータ の セットアップ](#)
- [シスコ ソフトウェア スマート アカウント の リクエスト と セットアップ \(お客様向け\)](#)

1.1.14. お客様が Cisco スマート アカウントを持っているかどうか、パートナーが不明な場合：パートナーは引き続き Cisco Commerce で注文を完了できますか。パートナーは、どのスマート アカウントが存在するかをスマート アカウント名またはドメインで検索できます。この検索は、Cisco Commerce (CCW) 内、および [Cisco Software Central](#) の [管理 (Administration)] で、[既存のスマート アカウントへのアクセスの要求 (Request Access to an Existing Smart Account)] プロセスを開始することで利用できます。スマート アカウントが存在しない場合は、Cisco Commerce (CCW) 内から直接発注する際に、お客様の暫定/未承認のスマート アカウントを設定できます。お客様はセットアップを完了するまで新しいライセンスにアクセスできませんが、注文は履行されます。

1.1.12. スマート アカウントを構築する方法に関するガイダンスはどこにありますか。ベストプラクティスは、[スマート アカウント作成意思決定ツリー](#) ツールまたは[ベスト プラクティス クイック リファレンス ガイド](#)を参照してください。

1.1.13. パートナーがエンドカスタマーのスマート アカウントを申請することはできますか。

はい、パートナーはエンドカスタマーに代わってスマート アカウントを申請できます。パートナーは、標準のスマート アカウント リクエスト プロセスに従う必要があります。スマート アカウントを請求する場合は、[いいえ、アクティベーションを承認するために指定されたユーザがアフェリエイトになります (No, the specified person will be affiliate to authorize the activation)] オプションを選択し、エンドカスタマーの電子メールアドレスを入力する必要があります。リクエストプロセス中に、パートナーはエンドカスタマーのスマート アカウントへの管理ユーザアクセスをリクエストできます。お客様の担当者は、パートナーの管理アクセス権のリクエストを承認する必要があります。詳細については、こちらのトレーニングを参照してください。

[シスコ ソフトウェア スマート アカウント および パートナー と ディストリビュータ の セットアップ](#)



1.1.14. シスコパートナーとして登録されていないが、シスコアカウントにご登録の E メールアドレスを保持し、シスコから購入したパートナーは、ホールディングアカウントを持つことができますか。

はい、技術的には可能ですが、シスコアカウントにご登録の E メールアドレスに適切なアクセス権がない場合、パートナーは **Cisco Commerce (CCW)** のホールディングアカウントにアクセスできない場合があります。これにより、注文がホールディングアカウントでスタックする可能性があります。

1.1.15. スマート アカウント管理におけるシスコパートナーの役割は何ですか。

パートナーは、お客様に代わってお客様のスマート アカウントを管理できます。お客様のスマートアカウント管理者は、スマートアカウントおよび/または特定のバーチャルアカウント内のロールをパートナーに付与する必要があることに注意してください。通常、お客様はパートナーにスマート アカウント ユーザまたはバーチャル アカウント ユーザのロールを付与し、パートナーがスマート アカウント全体または特定のバーチャル アカウント内のライセンスを管理できるようにします。お客様は、パートナーがユーザやその他のスマート アカウント設定を管理することを希望する場合、パートナーにスマートアカウント管理者またはバーチャルアカウント管理者の役割を付与することもできます。

1.1.16. スマート アカウントはどこで表示および管理できますか。

スマート アカウントが作成され、スマート アカウント対応製品が購入されると、**Cisco Software Central (CSC)** でパートナー ホールディング スマート アカウントおよびカスタマー スマート アカウントの基本的なアカウント管理が行われます。エンドカスタマーは、**Smart Software Manager (SSM)** を介してスマート アカウントに割り当てられたライセンスにアクセスし、管理できます。パートナーとお客様は、**Cisco Software Central (CSC)** を通じてスマートアカウントを管理し、新しいバーチャルアカウントを作成できます。

1.1.17. 何件の請求先 ID が 1 つのスマート アカウントにマッピングされますか。

現在、請求先 ID はスマートアカウントにマッピングされていません。

1.1.18. さらに多くの製品でスマート アカウントの取得が求められるようになるのはいつですか。

製品は、時間の経過とともにスマート ライセンス対応になっていきます。スマート対応 SKU の詳細リストについては、<https://communities.cisco.com/docs/DOC-59102> のリンクを参照してください。

1.1.19. Cisco Software Central と Smart Software Manager の違いは何ですか。

**Cisco Software Central** では、スマート アカウント管理オプションとスマートソフトウェア管理機能を起動できます。**Cisco Software Central** では、スマート アカウント管理機能にアクセスして、スマート アカウントの属性の管理、バーチャル アカウントの管理、スマート アカウント/バーチャルアカウントのユーザの管理を行うことができます。

**Smart Software Manager** では、スマート ソフトウェア ライセンスを追跡および管理できます。スマートアカウントには、いくつかのバーチャルアカウントを設定できますか。



上限はありません。会社で必要な数だけバーチャル アカウントを作成できます。ただし、管理可能なバーチャル アカウントの数には限界があります。

#### 1.1.20. カスタマー スマート アカウント内でバーチャル アカウントを作成および管理するためのベストプラクティスは何ですか。

1つのスマートアカウント内に複数のバーチャルアカウントを作成できます。

バーチャル アカウントを使用して、ライセンスのアクセス制御を可能にできます。バーチャル アカウントユーザは、バーチャルアカウントのライセンスのみを管理できます。

バーチャル アカウント名は、**Cisco Commerce (CCW)** スマート アカウント検索でパートナーに表示されます。したがって、お客様の内部および機密情報を開示しないバーチャル アカウント名を使用することをお勧めします。

#### 1.1.21. シスコの従業員はカスタマー スマート アカウントにアクセスできますか。

少数のシスコサポート担当者は、カスタマーサポートを促進するためにカスタマー スマート アカウントにアクセスできます。以下の **4.1.2** を参照してください。シスコのその他の従業員、アカウントチーム、マーケティング部門などは、お客様から許可されない限りアクセスできません。お客様は、（スマート アカウント全体またはいずれかのバーチャル アカウントに）新しいユーザを追加することで、お客様のスマート アカウントへのアクセスを許可できます。お客様の従業員とシスコの従業員の両方を新しいユーザとして追加できます。パートナーはカスタマー スマート アカウントをどのように管理できますか。

お客様は、スマート アカウント全体または特定のバーチャル アカウントのいずれかを管理するために、パートナーにアクセス権を付与する必要があります。詳細については、[クイック リファレンス ガイド「スマートアカウントを管理するパートナーを割り当てる」](#)を参照してください。

#### 1.1.23. 複数のパートナーが同じカスタマースマートアカウントにアクセスすることはできますか。

ベストプラクティスは、お客様がお客様のスマート アカウント内に複数のバーチャル アカウントを作成することです。各バーチャル アカウントへのアクセスは、異なるパートナーに付与できます。アクセスは、承認されたアカウント内のアセットに限定されます。

#### 1.1.24. エンドカスタマーは、パートナーのカスタマー スマート アカウントまたはいずれかのバーチャル スマート アカウントへのアクセスを取り消すことができますか。

はい、できます。

#### 1.1.25. パートナーまたはお客様は複数のカスタマー スマート アカウントを使用できますか。

はい、できます。ただし、お客様のライセンスを包括的に把握できるように、単一のカスタマー スマート アカウントを使用することを強くお勧めします。複数のスマート アカウントがあると、パートナーが特定の注文に関連付けるスマートアカウントを決定しようとして混乱する可能性があります。

### 1.1.26. お客様がお客様のスマート アカウントを無効化したときに、無効化されたスマート アカウントにライセンスが残っている場合はどうなりますか。お客様はこれらのライセンスをどのように取得できますか。

お客様は、[japan-tac@cisco.com](mailto:japan-tac@cisco.com) または [Support Case Manager](#) (SCM) を使用してケースをオープンする必要があります。  
スマート アカウントとライセンスは、無効化されてもなくなることはありません。スマート アカウントは非アクティブ化状態になります。  
アカウントが再度アクティブ化された場合、すべてのアセットがアカウント内に残っています。

## 1.2. スマート アカウントの作成と管理

### 1.2.1. 誰がスマート アカウントを作成できますか。

リクエスト送信者は、最初のスマート アカウント リクエストを行う人です。リクエスト送信者は、スマート アカウントを実際に作成する別の人を指名することができます。リクエスト送信者が他の誰かを指名してスマート アカウントを作成する場合、指名された人がスマート アカウントの作成と設定プロセスを完了するまで、アカウントは保留状態になります。リクエスト送信者は、作成者になることもできることに注意してください。

作成者は、スマート アカウントを作成して設定する人です。この人は、会社の代表者となり、アカウントを作成する権限を持ちます。作成者は、リクエスト送信者になることもできることに注意してください。

アカウント作成者にはスマート アカウントに関する契約を会社に締結させる権限があります。作成者は、スマート アカウントの設定プロセス中に追加の作成者を指定できます。

### 1.2.2. スマート アカウントは、Cisco One ライセンスだけでなく、すべてのタイプのライセンスで利用できますか。

スマート アカウントは、スマートライセンスと PAK ベースのライセンスで使用できます。スマートライセンスの場合、CCW での発注時にスマート アカウントの割り当てが必須です。

- スマートライセンス対応 SKU のリストについては、[こちら](#)を参照してください。
- スマートライセンス対応製品ファミリーの一覧は [こちら](#)をご覧ください。PAK ベースのライセンスの場合、スマート アカウントの割り当ては任意ですが、推奨します。一部のクラウド/SaaS ライセンスもスマート アカウント対応です。
- ここでは、[現在スマート アカウントをサポートしているサブスクリプションオファー](#)のリストを確認できます。

### 1.2.3. チームの電子メールエイリアスを使用してスマート アカウントを作成することはできますか。

はい。チームの電子メールエイリアスを使用してスマート アカウントを作成できます。ただし、監査証跡が制限され、独立した電子メール通知/アラートができなくなるため、推奨されません。

#### 1.2.4. スマート アカウントにユーザを追加する場合、エイリアスを使用できますか。

パートナーは、エイリアスではなく個々の電子メールアドレスを提供する必要があります。これにより、アカウントにアクセスできるユーザを制限し、可視性を高めることができます。以下の「ユーザグループ」も参照してください。

#### 1.2.5. スマート アカウントを申請する場合、誰を作成者（承認者）ロールとして指定する必要がありますか。

作成者（承認者）は、会社を代表し、会社のライセンス管理を所有できる、会社に関連する人物である必要があります。作成者の電子メールアドレスは会社のドメイン ID と一致する必要があります。そのため、電子メールは個人の電子メールではなく、作成者の会社のプライマリ電子メールである必要があります。作成者にはシスコアカウントにご登録の E メールアドレスも必要です。

#### 1.2.6. 作成者（承認者）がスマート アカウントの有効化を承認した後、作成者（承認者）はデフォルトでスマート アカウントの特定のロールに設定されますか。

作成者/承認者は、スマートアカウント管理者およびスマート アカウント承認者として自動的に指定されます。その目的は、誰かがこのロールでスマート アカウントを管理し、またスマートライセンスの管理を開始することです。

#### 1.2.7. 1 つのスマート アカウントに 2 人の作成者/承認者がいる場合、互いの追加アカウントを確認できますか。

スマートアカウントのアクティベーションを承認するスマート アカウント作成者/承認者になれるのは、1 人のみです。その他のユーザは、承認者、管理者、またはユーザとしてスマートアカウントに追加できます。

#### 1.2.8. パートナーは、スマート アカウントの作成でお客様をどのように支援できますか。

パートナーは、**CCW** または **CSC** でスマート アカウント リクエストを開始します。作成者の電子メールアドレスを入力し、リクエストを送信する必要があります。お客様の会社の作成者は、ロールを承認または拒否するために **CSC** にアクセスするように指示する電子メールを受け取ります。ロールが承認され、ドメイン ID と電子メールが一致すると、作成者はアカウントの設定を完了できます。設定が完了していない場合、アカウントは契約の同意またはドメイン ID の承認のために保留状態になります。

#### 1.2.9. パートナーは、お客様のスマート アカウントを作成するのですか、またはお客様自身で作成するよう依頼する必要がありますか。

パートナーが **CCW** でライセンスを発注しており、まだお客様にスマート アカウントがない場合、パートナーは **CCW**、[注文 (Orders)]、[品目 (Items)] タブからエンドカスタマーのカスタマー スマート アカウントを直接リクエストできます。その時点で、パートナーはエンドカスタマーの電子メールアドレスを提供し、リクエストを送信する必要があります。エンドカスタマーユーザはスマート アカウントの作成を完了する必要があるため、パートナーがお客様のフォローアップを行うことをお勧めします。パートナーは、お客様に代わって **Cisco Software Central** からカスタマー スマート アカウントをリクエストすることもできます。お客様は、**Cisco Software Central** からカスタマー スマート アカウントを直接リクエストして作成できます。ビジネス状況により異なります。

### 1.2.10. アカウントに対する可視性を制限する方法はありますか。

はい。複数のバーチャル アカウントを作成、選択したライセンスをバーチャル アカウントに配置、特定のバーチャル アカウントへのユーザアクセスを提供することができます。スマートアカウント管理者またはバーチャル アカウント管理者は、**Cisco Software Central (CSC)** でバーチャル アカウント管理者またはバーチャル アカウント ユーザとしてユーザを追加することで、このロールを指定できます。これにより、スマート アカウント全体ではなく、特定のバーチャルアカウント内のライセンスにのみアクセスできるようになります。

### 1.2.11. スマート アカウントのアクティベーションから、最初のライセンスがスマート アカウントに割り当てられるまでの時間制限はありますか。

スマート アカウントのアクティベーションから、スマート アカウントへのスマートライセンスの初回デポジットまでの時間制限はありません。

ライセンスは、「保留中」ステータスのカスタマー スマート アカウントに関連付けることもできます。スマート アカウントがアクティブになると、そのアカウントに自動的に「デポジット」（プロビジョニング）されます。

### 1.2.12. CCW スマート アカウントの承認リクエストに対する応答時間はどのくらいですか。

作成者の電子メール ID が会社のドメイン ID と一致し、パブリックドメインでない限り、リクエストの承認には約 **24 ~ 48** 時間かかります。

### 1.2.13. お客様がすでにスマート アカウントを設定しているかどうかはどこで確認できますか。

スマート アカウントが存在するかどうかを確認するには、**CCW** の検索機能を使用するか、[Cisco Software Central](#) の [既存のスマートアカウントへのアクセスをリクエスト (Request Access to Existing Smart Account)] リンクを使用します。スマート アカウントへのアクセスをリクエストすると、そのリクエストはスマート アカウントが有効な場合にのみ処理されます。

### 1.2.14. 既存のスマート アカウントを検索するにはどうすればよいですか。

スマート アカウントが存在するかどうかは、**Cisco Software Central** ツール ([software.cisco.com](https://software.cisco.com)) の [既存のスマートアカウントへのアクセスをリクエスト (Request Access to existing Smart Account)] リンクから確認できます。アクセスをリクエストするスマート アカウントを検索する場合は、アカウントドメイン ID を入力して送信する必要があります。送信すると、アクセスをリクエストできる既存のスマート アカウントのリストが表示されます。

### 1.2.15. 重複するスマート アカウントが作成されていないことを確認するにはどうすればよいですか。

スマート アカウントの作成時に重複チェックが行われます。これにより、リクエストされたトップレベルドメイン ID がすでに取得されて有効になっていないことが確認されます。スマート アカウントのリクエストプロセスにより、重複アカウントの作成が防止され、重複がリクエストされた場合にユーザにメッセージが表示されます。

### 1.2.16. お客様が新しいお客様をマージ/獲得するとどうなりますか。

マージやスピノフが発生した場合、お客様は必要に応じてスマート アカウントの統合または分離をリクエストできます。シスコは、シスコライセンスの所有者を法的に変更するさまざまな理由を理解しています。サポートに連絡して、ライセンスの問題やニーズに対応できます。[japan-tac@cisco.com](mailto:japan-tac@cisco.com) または [Support Case Manager \(SCM\)](#) からケースをオープンしてください。

### 1.2.17. お客様のスマート アカウント リクエスト送信者（パートナー）は、リクエストしたエンドカスタマーのアカウントが作成されたという確認を受け取りますか。

はい。スマート アカウントが作成されている場合、または保留状態にある場合は、パートナーとお客様の両方に電子メール通知が送信されます。この通知は、アカウントがリクエストされてからまだ保留中である場合など、複数の機会に提供されます。スマート アカウントが保留中のままの場合、パートナーとお客様は、アカウントのステータスが変更されるまで（スマートアカウントが作成されるまで）電子メール通知を受け取ります。

### 1.2.18. カスタマー スマート アカウントのロールとは何ですか。

スマート アカウントには次の 5 つのロールがあります。

- **スマート アカウント承認者**：スマート アカウントのプロパティの編集、すべてのユーザの表示、契約の承認、イベントログの表示を行うことができます。承認者は **Cisco Software Central** にアクセスできますが、**SSM**、**LRP**、および **EA Workspace** にはアクセスできないため、ライセンス管理アクティビティは実行できません。
- **スマートアカウント管理者**：スマート アカウントのプロパティの編集、ユーザの追加と編集、バーチャル アカウントの追加と編集、契約の承認、イベントログの表示を行うことができます。スマートアカウント管理者は、**CSC** にアクセスでき、スマート アカウント全体の **SSM**、**EA Workspace** および **LRP** ですべてのライセンス管理アクティビティを実行することもできます。
- **スマート アカウント ユーザ**：スマートアカウント管理者と同じように、このロールではすべてのツール (**CSC**、**SSM**、**EALRP**) ですべてのバーチャル アカウントにアクセスできません。スマート アカウント ユーザはライセンス管理アクティビティを実行できますが、新規バーチャルアカウントの作成やユーザ管理アクティビティは実行できません。
- **バーチャルアカウント管理者**：スマートアカウント管理者に似ていますが、割り当てられたバーチャル アカウントに限定されます。このロールでは、割り当てられたバーチャル アカウントのユーザの編集/追加、割り当てられたバーチャル アカウントのイベントログの表示、アカウント契約の表示を行うことができます。バーチャル アカウント管理者は、割り当てられたバーチャル アカウントの **SSM**、**EA** および **LRP** ですべてのライセンス管理アクティビティを実行できます。
- **バーチャル アカウント ユーザ**：スマート アカウント ユーザに似ていますが、ユーザが割り当てられたバーチャル アカウントに限定されます。ユーザは選択したバーチャル アカウントのライセンス管理アクティビティを実行できますが、割り当てられたバーチャル アカウントに新規のユーザを追加することはできません。

注：すべてのロール（スマート アカウント承認者を除く）は、該当する **Partner Holding Smart Account** の **CCW** 注文参照権を自動的に含まれます。



詳細については、[スマート アカウント ロール トレーニング](#)を参照してください。

**1.2.19.** スマート アカウントの承認者または管理者を変更し、追加のユーザがすべてのライセンスや契約を表示できるようにすることは可能ですか。

はい。ユーザロールは、[Cisco Software Central](#) の [スマートアカウントの管理 (Manage Smart Account) ] でスマートアカウント管理者が変更できます。別のユーザまたは追加のユーザをスマート アカウント承認者または管理者として承認できます。既存のユーザロールは、スマートアカウント管理者が変更することもできます。

**1.2.20.** スマート アカウント承認者は **Smart Software Manager** にアクセスできませんが、**SSM** でスマートライセンス契約をクリックして同意するにはどうすればよいですか。クリックして同意は **CSC** で実行できますか。

スマートライセンスの「クリックして同意 (C2A) 」を受け入れることができるのは、**Smart Software Manager (SSM)** だけではありません。

C2A は、**Cisco Software Central (CSC)** の [管理 (Administration) ] → [スマートアカウントの管理 (Manage Smart Account) ] → [アカウント契約 (Account Agreements) ] でも同意できます。

その結果、スマートアカウント管理者は、**SSM** と **CSC** の 2 つの場所で契約に同意できます。承認者は **CSC** でのみ契約に同意でき、**SSM** では同意できません。実際には、ほとんどの場合、承認者はお客様の組織の法務担当者です。したがって、**CSC** でのみ契約に同意できるようにすることは理にかなっています。

**1.2.21.** **Cisco** スマートアカウントにアクセスしようとしていますが、管理者が誰であるかがわからず、[アクセス権の要求 (Request Access) ] オプションが機能しません。

[japan-tac@cisco.com](mailto:japan-tac@cisco.com) または [Support Case Manager](#) (SCM) を使用してケースをオープンします。お客様が新しい管理者の完了を要求していることを示すお客様からの証明が必要です。

**1.2.22.** シスコエンタープライズ アグリーメント (EA) はスマートアカウントとどのように関係していますか。

スマート アカウントは現在、すべての EA (セキュリティおよびコラボレーション) で必須になっています。これにより、これまでよりも詳細に情報を追跡できるようになっています。

詳細については、[エンドツーエンド EA ワークスペーストレーニングガイド](#)を参照してください。

**1.2.23.** 新しいライセンスがデポジットされたときにスマート アカウントで通知をする方法を教えてください。

[Software.Cisco.com](https://software.cisco.com)に移動し、スマートアカウントを選択して (複数の場合)、**Smart Software Manager** に移動し、**Preferences** タブで、[電子メール通知 (Email Notification) ] の下で [新規ライセンス (new licenses) ] をチェックします。

1.2.24. スマート アカウントを設定する場合、ユーザ自身を管理者として設定する必要がありますか。その項目は空白のままにできますか。

少なくとも 1 人の管理者が存在する必要があります、必ずしもユーザ自身である必要はありません。

1.2.25. 複数のパートナーが単一のスマート アカウントにアクセスすることはできますか。

はい、できます。お客様は、さまざまなパートナーのユーザにアクセス権を付与する必要があります。

1.2.26. お客様は、自社のスマート アカウントがあるかどうかを知らない場合があります。お客様がアカウントを持っているかどうかをパートナーが調べるにはどうすればよいですか。

Cisco Software Central ([software.cisco.com](https://software.cisco.com)) の [既存のスマートアカウントへのアクセスをリクエスト (Request Access to existing Smart Account) ] リンクを使用して確認できます。

確認するには、[アカウントドメイン識別子 (Account Domain Identifier) ] フィールドにカスタマードメイン (例: [cisco.com](https://cisco.com)) を入力します。スマート アカウントが存在しない場合は、[アカウントドメイン ID (Account Domain Identifier) ] ボックスが赤色に変わり、「正しい形式のドメイン (例: [company.com](https://company.com) または [west.company.com](https://west.company.com)) を入力してください」というメッセージが表示されます。スマート アカウントがある場合は、スマート アカウントを選択します。

1.2.27. パートナーがエンドユーザのスマート アカウントとスマートライセンスを追跡および管理するにはどうすればよいですか。

エンドカスタマーからアクセス権を付与されると、スマート アカウントとスマートライセンスを管理できます。パートナーがスマート アカウントを管理するためにパートナーを割り当てる方法については、クイック リファレンス ガイド: [スマート アカウントを管理するパートナーを割り当てるための QRG \[英語\]](#) を参照してください。

1.2.28. 概算見積書 (Estimate) にスマート アカウントを割り当てることはできますか。

いいえ。現在、スマート アカウントは、Cisco Commerce の見積 (Quote) と注文 (Order) にのみ割り当てることができます。

1.2.29. ライセンスとデバイスがすでに存在するバーチャル アカウントを削除することはできますか。

いいえ、できません。

1.2.30. パートナーがお客様のスマート アカウントへのアクセス権を持っている場合、その外部スマート アカウント アクセス権は、その人がパートナー企業を退職した時点で取り消すことができますか。

はい。雇用者は、雇用者とは別の従業員または請負業者の外部スマート アカウント ユーザアクセスを特定し、取り消すことができます。

現在のアクセスが、雇用ステータスの変更、または [Cisco.com](https://cisco.com) プロファイルのプライマリ電子メールアドレスの変更 (電子メールドメイン ID の変更) のために、スマートアカウント管理者により認証解除されると、ユーザアクセス認証が適用されます。

ユーザの認証が解除されると、[software.cisco.com](https://software.cisco.com) からスマート アカウントへのアクセスを再度要求することができます。



### 1.2.31. お客様のスマートアカウント管理者がスマート アカウントのアドレスを変更する

場合、手動で変更することはできますか。それともシスコサポートにケースをオープンする必要がありますか。

はい。お客様は、[japan-tac@cisco.com](mailto:japan-tac@cisco.com) または [Support Case Manager \(SCM\)](#) を使用してケースをオープンする必要があります。  
セルフサービスのスマート アカウント アドレス変更はありません。

### 1.2.32. スマートアカウントにユーザを 1 人ずつ追加するのではなく、複数のユーザを一度に追加できますか。

はい。スマートアカウント管理者は、カスタマー スマート アカウント内にユーザグループを作成できます。新しいユーザグループを作成した後、スマートアカウント管理者は自動的にグループ所有者になり、任意の数のユーザをグループに追加し、グループレベルでスマート アカウントおよびバーチャル アカウントのアクセスを定義できます。

詳細については、次のオンデマンドトレーニングを参照してください。

[シスコ ソフトウェア スマート アカウントの管理 \(お客様向け\) シスコソフトウェア ユーザグループクイックガイド](#)

### 1.2.33. バーチャル アカウントにタグを割り当てることはできますか。

はい。スマートアカウント管理者は、[Cisco Software Central \(software.cisco.com\)](https://software.cisco.com) からバーチャル アカウント カスタム タグを作成できます。バーチャルアカウントレベル (部門、プラットフォームテクノロジー、国など) でカスタムタグを作成し、それぞれの値を一覧表示できるようになりました。そのため、会社の組織構造と権限付与ポリシーに基づいてバーチャルアカウント (VA) を効果的に構成し、管理できます。

詳細については、次のオンデマンドトレーニングを参照してください。

[シスコ ソフトウェア スマートアカウントの管理 \(お客様向け\) シスコソフトウェア バーチャル アカウント カスタム タグのクイックガイド](#)

### 1.2.34. スマート ソフトウェア ライセンスにタグを割り当てることはできますか。

はい。[Smart Software Manager](#) で実行できます。ライセンスタグは、バーチャルアカウントのカスタムタグとは異なります。[SSM](#) の [インベントリ (Inventory) ] タブから新しいライセンスタグを作成できます。

詳細については、次のオンデマンドトレーニングを参照してください。

[スマートアカウントを使用したシスコソフトウェアスマートライセンスの管理](#)

### 1.3. 中堅・中小企業のお客様向け制限付きスマート アカウント

#### 1.3.1. 制限付きスマート アカウントとは何ですか。

標準のカスタマー スマート アカウントよりもシンプルで機能が限られたスマート アカウントです。制限付きスマート アカウントは、特に、会社の電子メールアドレスがなく、フリーメールアドレス ([gmail.com](mailto:gmail.com) や [yahoo.com](mailto:yahoo.com) など) を使用しているスモール ビジネスのお客様向けに用意されています。

詳細については、次のトレーニング、[中堅・中小企業のお客様向け制限付きスマート アカウント](#)

#### 1.3.2. 制限付きスマートアカウントの作成対象者は誰ですか。

制限付きスマート アカウントを作成して日常業務で使用できるのは、会社の電子メールアドレス ID がなく、[gmail.com](mailto:gmail.com) などのフリーメールアドレスを使用しているお客様に限られます。

会社の電子メールアドレス ID をお持ちの場合は、制限付きスマートアカウントを作成できません。その場合は、標準スマートアカウントを作成する必要があります。

#### 1.3.3. 制限付きスマート アカウントと標準のスマート アカウントはどのように異なりますか。

制限付きスマート アカウントでは、ユーザ数 (最大 3 ユーザ) やバーチャル アカウントの数 (最大 3 件のバーチャル アカウント) の制限、ユーザグループやバーチャル アカウント カスタム タグを利用できないなどの機能制限があります。

お客様の [Cisco.com](https://www.cisco.com) プロファイルプライマリ電子メールは、パブリックドメイン ([gmail.com](mailto:gmail.com), [yahoo.com](mailto:yahoo.com) など) である必要があります。

#### 1.3.4. 制限付きスマート アカウントのアクティベーションの時点で、お客様のユーザはすぐにスマートライセンスを設定し、スマート ライセンス トークンを作成できます。2 つ目のスマート ライセンス トークンを生成する必要がある場合は、**Smart Software Manager** にアクセスする必要がありますか。

はい。最初のトークンは、制限付きスマート アカウントを有効化した直後に、お客様のユーザが作成できます。このトークンは製品登録に 1 回のみ使用でき、有効期間は 30 日間です。目的は、お客様の作業を簡素化することです (スマート アカウントが設定され、アクティブになったらすぐにスマートライセンス トークンを作成できます)。

追加のトークンについては、お客様は **Smart Software Manager** に移動し、[インベントリ (Inventory)] タブから (標準プロセスを使用して) トークンを生成する必要があります。**Smart Software Manager** で生成されたトークンは、製品登録に複数回使用でき、1 ~ 365 日の任意の期間有効です (ただし、30 日の期間を選択することを推奨します)。

### 1.3.5. お客様が他の誰か (パートナー) にスマートライセンスをセットアップしてもらいたい場合でも、お客様はスマートライセンス契約に同意しますか。

このオプション ([スマートライセンスをセットアップしてもらいたい (I want someone else to set up Smart Licensing)]) は、お客様がパートナーを指名して、お客様のスマート ライセンスへのアクセス権を付与して、製品登録用のトークンを生成できるようにするために用意されています。パートナーはエンドカスタマーを代表して、スマートライセンスの「クリックして同意」などのシスコ契約に同意することはできません。したがって、お客様がパートナーに招待を送信すると、パートナーはその時点で自動的にスマートライセンス契約に同意することになります。

### 1.3.6. 制限付きスマート アカウントを標準カスタマー スマート アカウントにアップグレードできますか。

はい、中堅・中小企業向け制限付きスマート アカウントのスマートアカウント管理者が、標準カスタマー スマート アカウントへのアップグレードをリクエストできるようになりました。

アップグレードは、[Cisco Software Central](#) → [スマートアカウントの管理 (Manage Smart Account)] → [アカウントのプロパティ (Account Properties)] でリクエストできます。

お客様が標準カスタマー スマート アカウントにアップグレードするには、[Cisco.com](#) プロファイルを更新して会社の電子メールアドレスを登録する必要があります。

標準カスタマー スマート アカウントへのアップグレードにより、お客様は標準カスタマー スマート アカウントのすべての機能を活用できるようになります。

## 2. スマートライセンス

### 2.1. スマートライセンスの概要：スマート ライセンスと従来型ライセンス

#### 2.1.1. シスコがソフトウェアライセンスを変更するのはなぜですか。

シスコのイノベーションは、20 年にわたってネットワーク市場をリードしてきました。シスコのエンジニアリングチームは、お客様に世界クラスの製品とソリューションを生み出しています。多数の買収を伴う、製品の進化により、製品の購入、ライセンス、アクティブ化、更新、アップグレードのためのさまざまな方法が導入されています。このため、シスコの製品ライン全体で製品を販売および管理する担当者には、大きな不整合と混乱につながっています。シスコは、お客様とパートナーの生産性とビジネス遂行の容易さを向上させるために、ソフトウェアライセンスを変更しています。

- 現在、お客様のシスコソフトウェア ライフサイクルエクスペリエンスには、サポートが必要な最大 **19** のステップと複数の停止ポイントがあります。現在のプロセスには次のような特徴があります。
- お客様のすべてのソフトウェア資格と関連データが保存され、表示できる一元的な場所がない
- ソフトウェア ライセンス テクノロジーが多すぎる
- ライセンスツールがさまざま
- シスコサポートとの接点が多すぎるため、ライセンスタスクを完了できない。

シスコのソフトウェア ライフサイクルを変革するために、シスコは、シスコのポートフォリオ全体で、よりシンプルで柔軟なオファー構造をサポートし、お客様にソフトウェア製品の購入、アクティブ化、管理、更新、アップグレードをより簡単かつ迅速に、より一貫性のある方法で提供できるスマート ソフトウェア ライセンスを設計しました。

### 2.1.2. スマート ソフトウェア ライセンスはどのように機能しますか。

シスコ スマート ソフトウェア ライセンスは、権限付与の障壁を取り除き、お客様やパートナーの **SW** インストール ベースに関する情報を提供して、シスコのソフトウェアの購入、展開、追跡、更新を容易にします。これは、**PAK** ベースのモデルから、柔軟性と高度なコンシューマベースのモデルを可能にする新しいアプローチへの移行という、シスコのソフトウェア戦略の大きな変化です。

お客様、お客様が選択したパートナー、およびシスコは、**Cisco Smart Software Manager** でお客様のハードウェア、ソフトウェアの権限、最終的にはサービスを閲覧できます。

1 つのトークンで設定とアクティベーションを行うことができるすべてのスマート ソフトウェア ライセンス製品は、自動で登録されるため、**Web** サイトで製品アクティベーション キー (**PAK**) を使用して次々と製品を登録する必要はありません。**PAK** やライセンスファイルを使用する代わりに、スマート ソフトウェア ライセンスは、柔軟で自動化された方法により、お客様のポートフォリオ全体で使用できるソフトウェア ライセンスまたは権限のプールを確立します。プーリングは、ライセンスを再ホストする必要がないため、代替機交換 (**RMA**) で特に役立ちます。

お客様は、**Smart Software Manager** で会社全体のライセンス導入を簡単かつ迅速に自己管理することができます。柔軟な契約により、お客様は必要に応じてデバイスとソフトウェアをアクティブ化し、希望する場合は、ライセンス超過を含め、定期的にすべての料金を請求することができます。

標準的な製品オファー、標準的なライセンス プラットフォーム、柔軟な契約により、お客様はシスコソフトウェアを使用して、シンプルで生産性の高いエクスペリエンスを実現できます。

### 2.1.3. ポータルからライセンスを取得するプロセスはどのようなものですか。

スマートライセンスは **CCW** 注文に割り当てられるため、注文の送信後、ライセンスはお客様のスマート アカウントで自動的に利用可能になります。注文のライセンスは、特定のバーチャル アカウントに割り当てることも、スマート アカウント全体に割り当てることもできます。お客様は、ライセンスを「デフォルト」のバーチャル アカウントから適切な「バーチャル アカウント」に移動できます。

PAK ベースのライセンスは CCW の注文に割り当てることができます。注文が予約されると、お客様のスマート アカウントで PAK が利用可能になります。発注時にスマートアカウントが割り当てられていない場合、お客様はLAKでスマートアカウントにPAKを割り当てることができます（発注後）。

#### 2.1.4. スマート ソフトウェア ライセンスは、従来の PAK ベースのライセンスとどのように異なりますか。

従来のライセンス	スマートソフトウェアライセンス
制限された表示： <ul style="list-style-type: none"> <li>お客様は保有している内容を把握できません。お客様は、複数のポータル/ツールにアクセスして、ソフトウェア資産に関する情報を表示する必要があります。</li> </ul>	完全な表示： <ul style="list-style-type: none"> <li>パートナーとお客様は、お客様のソフトウェア資産を完全に共有することができます。ライセンスとデバイスの使用状況は、単一のインターフェイスから簡単に管理できます。</li> </ul>
PAK 登録： <ul style="list-style-type: none"> <li>お客様は、各デバイスを手動で登録する必要があります。デバイスは、ライセンスキーでのみロック解除できます。</li> </ul>	簡単な登録： <ul style="list-style-type: none"> <li>デバイスのロック解除に PAK は必要ありません。お客様はデバイスを簡単に利用できます。</li> </ul>
デバイス固有のライセンス： <ul style="list-style-type: none"> <li>ライセンスは 1 つのデバイスだけに固有です（ノードロックとも呼ばれます）。</li> </ul>	企業固有のライセンス： <ul style="list-style-type: none"> <li>柔軟なライセンス機能により、ライセンスをデバイス間で移動可能です。</li> <li>ライセンスをプールしてお客様またはパートナーが指定したグループ内の該当デバイスに適用できます。</li> <li>お客様とパートナーは当初の購入を超えてライセンスを使用でき、合意した後の日付にライセンス超過使用量を調整することで、実行を迅速化し、調達サイクルの不便さを軽減できます。</li> </ul>

#### 2.1.5. 従来型の PAK ベースのライセンスをスマートライセンスに変換するにはどうすればよいですか。お客様は、従来の PAK ベースのライセンスをスマート権限に変換できません（同等のスマートライセンスが利用可能な場合）。

ライセンス転換は、License Registration Portal (LRP) と Smart Software Manager (SSM) の両方で実行できます。

LRP で [PAK/トークン (PAKs/Tokens) ] タブに移動、→ [アクション (Actions) ] → [スマート権限への変換 (Convert to Smart Entitlement) ] の順に選択します。PAK 内の未請求のライセンスについては、PAK # で変換できます。製品によって要求されたライセンスの場合は、製品の UDI (PID + シリアル番号または UUID) を入力し、その製品で使用されているすべての PAK ライセンスを変換する必要があります。

SSM には、[ライセンス変換 (License Conversion)] タブがあり、スマートアカウントに割り当てられている従来型ライセンスをスマート ライセンスに変換できます。スマートアカウント管理者は従来型のライセンスをスマートライセンスに一括で変換でき、新しい注文でスマートアカウントに割り当てられた新しいPAKやデバイスの自動変換設定のセットアップも可能です。

詳細については、次のオンデマンド トレーニング モジュールを参照してください。

[スマート アカウントを使用したシスコソフトウェアクラシック ラ](#)

[イセンスの管理 スマートアカウントを使用したシスコソフトウェア](#)

[スマートライセンスの管理](#)

#### 2.1.6. シスコ スマート ソフトウェア ライセンスの利点は何ですか。

スマート ソフトウェア ライセンスにより、シスコとのビジネスが容易になります。当社では、ソフトウェアは機能すればよいと考えています。パートナーには次のような利点があります。

- 購入および展開されたデバイスとソフトウェアの可視性
- デバイス、ライセンス、使用状況をリアルタイムで監視および管理する機能
- 自動ライセンス アクティベーション
- 標準的なソフトウェアオファー、ライセンスプラットフォーム、ポリシーによるシンプルな製品
- 運用コストの低減

#### 2.1.7. スマート ソフトウェア ライセンスを使用するには何が必要ですか。

スマート ソフトウェア ライセンスを使用するには新しいスマート アカウントが必要です。既存のシスコアカウントにご登録の E メールアドレスをスマート アカウントにリンクできます。スマートライセンス機能を活用するには、製品がスマートライセンス対応である必要もあります。

#### 2.1.8 デバイスが現在どの従来型ライセンスを使用しているか確認できますか。デバイスにアクセスして、どのスマートライセンスが接続されているかを確認できますか。または、その情報を表示できるのは SSM からのみでしょうか。

従来型ライセンスの場合、デバイスにアクセスすると、実行しているライセンスを確認できます。スマートライセンスの場合、使用する権限をデバイスに伝える必要があるため、デバイスにアクセスすると、使用している権限が表示されます。



### 2.1.9. シスコ スマート ソフトウェア ライセンスはどの購入モデルをサポートしていますか。

現在、スマート ソフトウェア ライセンス対応製品では、永久ライセンスと期間/サブスクリプションライセンスを利用できます。一部の製品は、スマートライセンスを通じてマネージド サービス プロバイダー ライセンス契約 (MSLA) もサポートしています。今後、さらに多くのモデルが追加される予定です。

### 2.1.10. 永久ライセンスとサブスクリプション ライセンスにはどのような違いがありますか。

サブスクリプション モデルでは、お客様が、ライセンス期間の使用権の料金と、ソフトウェアサポート、スイートの更新、バージョン アップグレード、ライセンスのポータビリティのソフトウェア サポート サービスの料金を支払います。お客様がサブスクリプションをキャンセルすると、ライセンスの使用権を失います。

永久モデルでは、お客様が購入時に永久使用権のライセンス料金全額を支払うことになります。お客様は、ソフトウェア サポート、更新、アップグレード、ライセンスのポータビリティ権を得るには、年次のソフトウェア サポート サービス契約を維持する必要があります。ソフトウェア サポート サービス契約に対する支払いを停止した場合でも、該当するデバイス上のライセンスは引き続き使用できます。ただし、その後新しいデバイスに移行した場合には、サポート、更新、アップグレード、およびライセンスのポータビリティは利用できなくなります。

### 2.1.11. 自分のサービス契約はスマート アカウント対応ですか。

いいえ、現時点では違います。

### 2.1.12. スマートライセンスにはどのようなツールが関係しますか。

- [Cisco Software Central \(CSC\)](#) : スマート アカウントの作成と管理
- [Cisco Commerce Workspace \(CCW\)](#) : スマート製品の注文、パートナー ホールディング スマート アカウントに割り当てられた注文の表示、パートナー ホールディング スマート アカウントからカスタマー スマート アカウントへの注文の再割り当て
- [Smart Software Manager \(SSM\)](#) : カスタマー スマート アカウントでライセンスと製品インスタンスを管理、アクティブ化、登録

### 2.1.13. シスコでは、ソリューションを展開するエンジニアとのコミュニケーションを簡素化するために、ポータルに表示される SKU のリストを最新の状態に保つ方法を用意していますか。

はい。注文可能なスマートライセンス SKU のリストは、[こちら](#)で確認できます。

### 2.1.14. 製品ファミリがスマートライセンス対応になる時期のロードマップを示すドキュメントはありますか。

スマートライセンスの製品ロードマップは[こちら](#)です。

通常、既存の製品にスマートライセンスを導入する場合は、製品をハイブリッドモードで出荷するため、ユーザは新しいスマートライセンス システムを使用するか、従来型システムを使用するかを選択できます。スマートライセンスモードに切り替えると、ユーザはスマートライセンスのメリットを享受できません。新製品は、スマートライセンス対応専用として出荷されます。



### 2.1.15. 従来のライセンスとスマート ライセンスの違いは何ですか。

- 従来型ライセンス/PAK は、メールまたは **eDelivery** で受け取るか、スマート アカウントに登録して、特定のデバイスにノードロックされます。
- スマートライセンスは **PAK** を必要とせず、プールされたライセンスモデルです。

### 2.1.16. LRP (ライセンス登録ポータル) の従来の PAK の履行済み (Fulfilled) ステータスと未履行 (Unfulfilled) ステータスの違いを説明してください。

PAK が読み込まれると、履行を行えるようになります。これらの PAK は、[未履行 (Unfulfilled)] ステータスとして LRP の [PAK/トークン (PAKs/ Tokens)] タブに表示されます。ユーザが PAK をアクティブ化すると、[履行済み (Fulfilled)] になります。

### 2.1.17. スマートライセンスは IPv6 経由でサポートされますか。

スマートエージェントは IP アドレッシング方式とは無関係です。IPv6 をサポートする製品であれば、**Call Home** メッセージを渡すだけです。SSM オンプレミスは、2017 年 1 月現在、IPv6 経由でサポートされています。

### 2.1.18. LRP には [PAK / トークン (PAK / Tokens)] というタブがあります。LRP のトークンとは何ですか。PAK は製品アクティベーションキーですが、トークンは何を表していますか。

- トークンは技術的には PAK であり、PAK と同様に使用/履行できます。
- トークンは、特定の製品ファミリーで利用可能です (UBR と SPVTG の 2 つの製品ファミリーでのみサポートされます)。
- トークンは、お客様が既存のデバイスからライセンスを削除したい場合に (数量の誤った使用またはネットワークデバイス間でのライセンスの移動により) 作成され、その後、LRP での後続のトランザクションでそのトークンを使用します。
- トークンの履行プロセスは、PAK の履行とまったく同じです。

### 2.1.19. 自動 PAK 登録について簡単に説明してください。

シスコは、CISCO ONE を購入したお客様にオンデマンドの PAK 統合サービスを提供することで、ビジネスの容易さを向上しています。Cisco ONE PAK を統合してスマート アカウントにデポジットするすべてのリクエストについては、[Support Case Manager](#) (SCM) でケースをオープンしてオンラインリクエストを送信してください。

Cisco Commerce での発注時に PAK がスマート アカウントに割り当てられると、ライセンスはスマートアカウントに自動的にデポジットされます。PAK は、スマートアカウントで自動的に使用できるようになります。

### 2.1.20. お客様は、どのように既存の PAK キーをポータルに入力しますか。

Cisco Software Central ([software.cisco.com](https://software.cisco.com)) にアクセスし、[管理 (Administration)] セクションの [従来のライセンス (Traditional Licensing)] リンクをクリックします。ライセンス登録ポータル (LRP) にリダイレクトされます。[新しいPAK/トークンの追加 (Add New PAKs/Tokens)] オプションを使用して PAK を追加し、スマート アカウントとバーチャル アカウントに直接割り当てることができます。PAK がすでに [PAK/トークン (PAKs/Tokens)] タブに追加されている場合は、スマート アカウントに割り当てることができます。

詳細については、こちらのトレーニングを参照してください。

[スマート アカウントを使用したシスコ ソフトウェア クラシック ライセンスの管理 LRP QRG でスマート アカウントを PAK に割り当てる](#)

#### 2.1.21. スマート対応でない製品の PAK キーについてはどうなりますか。

PAK ベースのライセンスは、Cisco Commerce での発注時にスマート アカウントに割り当てることができます。PAK は、その後でカスタマー スマート アカウントの LRP で管理できます。

#### 2.1.22. 既存の PAK ベースのライセンスキーをスマート アカウントに追加するにはどうすればよいですか。

Cisco Software Central ([software.cisco.com](https://software.cisco.com)) でスマート アカウントを設定し、従来型 PAK ベースのライセンスをスマート アカウントに転送するか、[Support Case Manager \(SCM\)](#) でケースをオープンしてサポートに連絡し、スマート アカウントでライセンスを統合できます。

#### 2.1.23. 従来型 PAK はどのようにスマート アカウントにリンクされますか。注文時に CCW のみでしょうか。

はい。それが CCW で注文する場合にその時点で SA にリンクする最適な方法です。ただし、その時点で実行されない場合は、いつでも Cisco Software Central ([software.cisco.com](https://software.cisco.com)) でスマート アカウントを作成し、ライセンスポータルに戻ってスマート アカウントにリンクすることができます。

#### 2.1.24. 既存の PAK をスマート アカウントにインポート/追加する方法について、文書化されたプロセスはありますか。

はい。[スマート アカウントに PAK を割り当てる方法については、クイック リファレンス ガイド](#) があります

## 2.2. CCW でのスマートライセンスの発注

#### 2.2.1. スマートライセンス対応製品はどのように発注しますか。

現状のプロセスに従って、CCW でスマート SKU を発注します。注文では、スマート アカウント（パートナー ホールディング スマート アカウントまたはカスタマー スマート アカウントのいずれか）を割り当てる必要があります。注文するにはスマート アカウントを割り当てる必要があります。

#### 2.2.2. スマートライセンス SKU は注文でホールドされることがありますか。スマートライセンス対応 SKU が CCW の見積または注文に入力された場合、それらの SKU が新製品だった場合、コンプライアンスホールドになることがありますか。

スマート SKU であるためではありません。その他の理由で保留がある場合は、それらの保留が適用されます。

### 2.2.3. パートナー/お客様は、従来の PAK SKU と新しいスマート SKU の両方で注文を管理できますか。

スマートライセンス SKU は SSM で管理されます。スマート アカウントがあることが必要です。従来型 PAK ライセンスにはスマート アカウントに割り当てるオプションがありますが、引き続きライセンス登録ポータル (LRP) で管理されています。従来型 PAK をスマート アカウントに割り当てると (ほとんどの Cisco ONE バンドルに該当)、LRP では一人の シスコアカウントだけが PAK にマッピングされますが、スマート アカウントに関連付けられたすべての PAK をユーザが参照できます。

### 2.2.4. 1-Tier パートナーは、CCW でどのスマート アカウントを割り当てる必要がありますか。

1-Tier パートナーの場合は、CCW でスマート アカウントを割り当てる際に、企業ドメイン ID、スマート アカウント名、または電子メール ID を使用してエンド カスタマー スマート アカウントを検索するのが最善の方法です。お客様のアカウントが見つかったら、そのカスタマー スマート アカウントに割り当てます。

正しいスマート アカウントが見つからず、そのお客様のスマート アカウントがすでに作成されていると思われる場合は、スマート アカウントを指定できるお客様またはパートナーユーザを指名できます (Order Based Access)。正しいスマート アカウントが見つからず、まだ作成されていないことが確かな場合は、お客様に代わってカスタマー スマート アカウント リクエストを開始する必要があります。

もしあなたがお客様に代わってリクエストを開始した場合、エンドカスタマーはアカウントの設定方法に関する指示を受け取ります。エンドカスタマーに、スマート アカウントのセットアップを完了し、ライセンスを取得して使用する必要があることを伝えます。

どのような状況でも、お客様の連絡先情報やスマート アカウント情報が不明な場合は、いつでも発注をパートナー ホールディング スマート アカウントに割り当てることができるため、注文を送信して予約することができます。その後 CCW に戻り、注文を検索して、スマート アカウントの割り当てを正しいエンド カスタマー スマート アカウントに変更します。

### 2.2.5. ディストリビュータは、CCW ではどのようなスマート アカウントを割り当てる必要がありますか。

ディストリビュータの場合は、CCW でスマート アカウントを割り当てる際に、企業ドメイン ID、スマート アカウント名、または電子メール ID を使用してリセラー (2-Tier パートナー) パートナー ホールディング スマート アカウントを検索するのが最善の方法です。アカウントを見つけたら、そのパートナー ホールディング スマート アカウントに割り当てます。見つからない場合は、通常、スマート アカウントがまだ設定されていないことを意味します。そこから、お客様に代わってカスタマー スマート アカウントのリクエストを開始する必要があります。

リセラーに代わってリクエストを開始した場合、リセラーパートナーはアカウントの設定方法に関する指示を受け取ります。リセラーに、スマート アカウントのセットアップを完了し、ライセンスを取得して使用する必要があることを伝えます。

エンドカスタマーとの関係があった場合、またはエンドカスタマーの情報を把握している場合は、エンドカスタマーのスマート アカウントに直接注文を割り当てることができます。

どのような状況でも、リセラー/お客様の連絡先情報やスマート アカウント情報が不明な場合は、注文を送信して予約することができるまで、いつでも発注をホールディング スマート アカウントに割り当てることができます。そこから **CCW** に戻り、注文を検索して、スマート アカウントの割り当てを正しいリセラーのホールディング スマート アカウントまたはエンド カスタマー スマート アカウントに変更します。

#### 2.2.6. ディストリビュータは在庫発注できますか。

スマート製品は卸売価格表 (WPL) では利用できないため、ディストリビュータは在庫発注できません。発注できるのは、製品を購入してすぐに再販する場合のみです。これは、現在、注文を複数のパートナーに分割できないためです。

#### 2.2.7. スマートアカウントの割り当てにおける、リセラー (2-Tier) パートナーの役割は何ですか。

ほとんどの場合、エンドカスタマーとの関係が最適であるため、ディストリビュータはリセラーのホールディング スマート アカウントに注文を割り当てます。その後リセラーは、**CCW** にログインして注文を検索し、エンドカスタマーのスマート アカウントを割り当てて、ライセンスを受け取って使用できるようにします。

#### 2.2.8. シスコは、ディストリビュータおよび 2-Tier パートナーがどのような手続きをすることを期待していますか。

ディストリビュータが注文をリセラーのホールディング アカウントに割り当てた後、リセラーがその注文をエンドカスタマーのスマート アカウントに再割り当てすることが可能です。ディストリビュータがエンドカスタマーと直接連携している場合、エンドカスタマーのスマート アカウントに注文を直接割り当てます。

詳細については、次のオンデマンド トレーニング モジュールを参照してください。

[スマートアカウントを使用したシスコソフトウェア CCW の見積もりと注文 \(パートナー向け\)](#)

#### 2.2.9. 発注の際、どの時点でスマートアカウントの割り当てが必須ですか。

スマート ライセンス対応製品をお持ちの場合、注文を送信するにはスマート アカウントが必須です。スマート アカウント対応製品は、品目レベルの「SA」アイコンと赤色のテキストの「スマートアカウントが必要です (Smart Account Required)」というメッセージで示されます。スマート アカウントが割り当てられるまで注文を送信することはできず、割り当てられるまでハードストップエラーが表示されます。最初に割り当てられるアカウントは、カスタマー スマート アカウントまたはパートナー ホールディング スマート アカウントのいずれかです。最終的に、注文はエンドカスタマーのスマート アカウントに割り当てする必要があります。そうしない場合、お客様はライセンスを受け取らず、**SSM** でライセンスをアクティブ化して使用することができません。

#### 2.2.10. 注文が元々パートナー ホールディング スマート アカウントに割り当てられていた場合はどうすればよいですか。

発注後、エンドカスタマーを特定したら、**CCW** の上部にある [注文 (Order)] タブから [スマートアカウント注文 (Smart Account Orders)] をクリックして注文を検索します。これにより、スマートライセンス対応品目のあるすべての注文が返されます。割り当てステータス列をクリックすると、カスタマー スマート アカウント [未割り当て (not assigned)] でフィルタリングできます。次に注文に移動して、割り当てをカスタマー スマート アカウントに変更できます。

### 2.2.11. パートナー ホールディング スマート アカウントからカスタマー スマート アカウントに注文を移動する必要があるのはなぜですか。

お客様のスマート アカウントにデポジットされるまで、お客様はライセンスを取得、アクティブ化、および使用することはできません。

### 2.2.12. 購入者が自身のカスタマースマートアカウントを割り当てて注文を行う場合でも、パートナー ホールディング スマート アカウントを注文に追加する必要がありますか。

いいえ。パートナー ホールディング スマート アカウントは、エンドカスタマーが不明な場合のみ必要です。ただし、パートナー ホールディング スマート アカウントは、エンドカスタマーのアカウントに関わるアクティビティの履歴と可視性も提供します。

### 2.2.13. お客様の注文を行っているときに、お客様にカスタマー スマート アカウントがない場合はどうなりますか。

お客様に代わって **CCW** からカスタマー スマート アカウントをリクエストする必要があります。スマート アカウントを割り当てるとき、[スマートアカウントのリクエスト (**Request Smart Account**)] リンクが表示されます。お客様は、電子メールを受信し、スマート アカウントの設定を完了する必要があります。プロセスについて説明することをお勧めします。パートナー ホールディング スマート アカウントに発注を割り当てることもできます。その後、お客様に代わってスマートアカウントを申請する必要があります。カスタマー スマート アカウントが作成されると、パートナーは **Cisco Commerce Workspace (CCW)** に移動し、パートナー ホールディング スマート アカウントからお客様のスマート アカウントに注文を再割り当てできます。

### 2.2.14. パートナー ホールディング スマート アカウントにスマートプロダクトがあるパートナーまたは ディストリビュータは、スマートライセンス対応製品をエンドカスタマーにどのように提供しますか。

リセラーは、エンドカスタマーのスマート アカウントに注文を再割り当てする必要があります。これは出荷前または出荷後に実行できます。ディストリビュータが **2-Tier** パートナーに販売する場合、ディストリビュータはパートナー ホールディング スマート アカウントから **2-Tier** パートナー ホールディング スマート アカウントに注文を再割り当てできます。その後、**2-Tier** パートナーが、エンド カスタマー スマート アカウントへの注文の再割り当てを担当します。エンドカスタマーは、スマート アカウントにアクセスして、スマート アカウント対応製品を表示したり、ライセンスをアクティブ化および管理したりできます。ライセンスは、注文がエンド カスタマー アカウントに割り当てられるまで使用できないことに注意することは重要です。

詳細については、次のオンデマンド トレーニング モジュールを参照してください。  
[スマートアカウントを使用したシスコソフトウェア \*\*CCW\*\* の見積もりと注文 \(パートナー向け\)](#)

また、この短いビデオオンデマンドを確認することもできます。

[注文をパートナーのホールディングアカウントからスマート アカウントに再割り当てする方法](#)



### 2.2.15. パートナー ホールディング スマート アカウントにライセンスを保持できる期間はどれほどですか。

注文をパートナー ホールディング スマート アカウントに保持できる期間に制限はありません。お客様は、ライセンスを使用できるように注文を待っているため、お客様が特定されてから長く待たないことがパートナーの最善の利益となります。注文が出荷された後に割り当てを変更することはできません。パートナー ホールディング アカウントの割り当てにより、サブスクリプション タイマーは開始されませんが、カスタマー スマート アカウントの割り当てにより、ライセンスが配信された時点でタイマーが開始されることに注意してください。

### 2.2.16. ライセンスが誤ったカスタマー スマート アカウントに割り当てられた場合、カスタマー スマート アカウントの割り当てを変更できますか。

ライセンスがカスタマー スマート アカウントにデポジットされた後にパートナーがカスタマー スマート アカウントの割り当てを変更することはできません。シスコサポートに連絡する必要があります。シスコが正しいアカウントにライセンスを再割り当てします。

### 2.2.17. カスタマー スマート アカウントに割り当てる必要がある注文があることを確認するにはどうすればよいですか。

パートナー ホールディング スマート アカウントの所有者は、通知を受信するようにサブスクライブしている場合のみ、保留中のスマートライセンスの注文に関してアクションを起こすように知らせる **CCW** 通知を受信します。この通知のプリファレンスは、**Cisco Software Central** で設定できます。

### 2.2.18. パートナー ホールディング スマート アカウントに割り当てられた注文はどこで確認できますか。

**CCW** のパートナー ホールディング スマート アカウントで発注された注文を確認できます。

### 2.2.19. 誰が、特定のパートナー ホールディング スマート アカウントでの注文を表示できますか。

パートナー ホールディング スマート アカウントにアクセスできるすべてのユーザは、そこで行われた注文を表示できます。

### 2.2.20. カスタマー スマート アカウントにアクセスできない場合に、ライセンスがカスタマー スマート アカウントに配信されたかどうかを確認する方法はありますか。

トランザクション履歴は表示されませんが、注文がカスタマー スマート アカウントに割り当てられているかどうかは **CCW** で確認できます。

### 2.2.21. パートナー ホールディング スマート アカウントに関連付けられているどのロールが **CCW** に移動し、**CCW** で注文を表示し、割り当てを管理できますか。

次のスマート アカウントのロールについては、**CCW** 注文ビューの管理が、該当するパートナー ホールディング スマート アカウントに自動的に組み込まれます。

- スマートアカウント管理者
- スマート アカウント ユーザ
- バーチャル アカウント 管理者
- バーチャル アカウント ユーザ

**2.2.22.** リセラー/パートナーがライセンスを購入してパートナー ホールディング スマート アカウントに割り当て、エンドカスタマーがしばらくの間不明な場合、リセラー/パートナーはこれらのライセンスの請求を受けますか。

はい。請求の対象となる注文の出荷が確認された場合は、シスコから請求書が送付されます。

**2.2.23.** パートナーは注文をカスタマー バーチャル スマート アカウントに割り当てることができるのですか。

はい。カスタマー スマート アカウントまたは特定のバーチャル アカウントに割り当てることができます。

**2.2.24.** 誰が **CCW** で注文をパートナー ホールディング スマート アカウントからカスタマー スマート アカウントに移動できますか。

パートナー ホールディング スマート アカウントにアクセス権のあるユーザであれば、カスタマー スマート アカウントに注文を割り当てることができます。ただし、ユーザが注文を表示および編集できるようにするには、**CCW** の注文管理ロールがある必要があります。管理者ユーザはすべての注文にアクセスできます。バーチャル アカウントレベルの注文アクセス権を持つユーザは、そのパートナーのホールディング バーチャル アカウントに特別に割り当てられた注文のみを表示できます。

**2.2.25.** **CCW** でパートナー ホールディング スマート アカウントを関連付ける (**associate**) とはどのような意味ですか。

パートナー ホールディング スマート アカウントに関連付けられているすべてのユーザが **CCW** で注文を表示してレコードとして活用できるように、パートナー ホールディング スマート アカウントを注文に関連付けます。

**2.2.26.** 請求書に対する請求はどのように行われますか。

ライセンスがユーティリティベースの場合、使用量に応じて課金されます。永久ライセンス期間の場合、ライセンスの出荷が確認されると、すべてのライセンスの請求書が請求のために **ERP** に送信されます。

**2.2.27.** お客様がダウンロードするバージョンをパートナーが把握していない場合、新しいプロセスでソフトウェアのプロビジョニングはどのようにサポートされますか。

プロビジョニングは、ソフトウェアのバージョンの影響を受けません。デバイスにインストールされているソフトウェアバージョンは関係ありません。新しいバージョンのソフトウェアは、サービスに応じて自動的にプッシュされます。

**2.2.28.** お客様が、政府機関などの組織に提出するために、すべてのライセンスの物理的書類の証拠を保有する必要がある場合、スマート アカウント内でこれらのドキュメントにアクセスできますか。

シスコでは、すべてのスマートライセンス製品の著作権ライセンスドキュメントを、物理的かダウンロードして印刷可能な形式かを問わず **eDelivery** を介して送信します。ライセンスがお客様のスマートアカウントに自動プロビジョニングされたとしても、それは、注文の一環として行われます。



**2.2.29.** お客様は、カスタマー スマートアカウントでペーパーライセンスを利用できませんが、ペーパーライセンスのみ持っている場合、どのようにして再度アクセスできますか。

ペーパーライセンス (RTU) は現在、スマートアカウントには表示されません。シスコは、これらの権限のデジタルトレーサビリティを提供するオプションを検討しています。

**2.2.30** スマートライセンス対応製品/ライセンスの返却に関して従う必要がある特定のガイドラインはありますか。たとえば、ライセンスに関して、アクティブ化されていないことを確認する必要がありますか。または返却前に取り消す必要がありますか。スマートライセンス対応注文の返品に関するすべての質問の窓口は誰ですか。

現在のプロセスでは、スマートライセンス対応製品の返却には、返却されるシスコの **SO** 番号と **SKU** の両方を含める必要があります。この情報を使用して、返却時にお客様のスマートアカウントから引き落とされるすべてのスマートライセンス対応製品を確認するプロセスがあります。

スマートライセンス対応製品の返却は、非スマートライセンス対応製品と同じプロセスに従います。返却する前に、アクティブ化されていないことを確認するか、取り消す必要があります。スマートライセンス対応注文の返却に関するパートナー向け **PoC** は、現在返品をサポートしているチームと同じになります。

**2.2.31.** スマートライセンスでの返却はどのように機能しますか。RMA を行う場合、ライセンスはスマート アカウントから引き上げられますか。ライセンスが製品インスタンスですでに使用されている場合はどうなりますか。

スマートライセンス製品の返品は、現在と同じように機能します。現在、スマートライセンス製品の返品を手動で確認し、お客様のスマート アカウントからライセンスの「デビットによる引き落とし」を行う運用チームがあります。ライセンスがすでにデバイスによって使用されており、引き落とす他の無料ライセンスがない場合、それらのライセンスは引き続き「引き落と」され、デバイスは【コンプライアンス違反 (Out of Compliance)】モードになります。製品インスタンスは引き続き通常どおり機能しますが、お客様は、遵守状態に戻るためにライセンスを追加購入するか、製品インスタンスが使用するライセンス数を減らす必要があるアラートを受け取ります。

製品のサービスが予期せず停止した場合、お客様は製品インスタンスを **SSM** から削除して、そのデバイスで使用されているライセンスを解放できます。製品インスタンスが削除されると、ライセンスはプールに戻り、新しいデバイスで使用できるようになります。製品インスタンスを削除すると、このアクションがイベントログに表示されます。

**2.2.32. スマートライセンスの注文がリセラーのパートナー ホールディング スマート アカウントに割り当てられている場合、リセラーは、価格情報を含む CCW ビューステータスの注文全体にアクセスできますか。**

スマートライセンスの注文がリセラーのホールディング スマート アカウントに割り当てられている場合、パートナー ホールディング スマート アカウントで発注できるのは完了した注文のみであるため、リセラーは注文に含まれていたすべての品目（スマートライセンスの有無）を確認できます。価格情報は、[ディスカウント (Discounts) ] タブでリセラーも確認できます。

**2.2.33. お客様がライセンスを取得するために、SO 番号が必要ですか。**

スマート アカウントとスマートライセンスはシンプルであるため、特定の情報は必要ありません。ライセンスは、カスタマー スマート アカウントに割り当てられると、SSM ツールに配置されます。お客様は SSM に移動するだけで、すべてのライセンスがアカウントにデポジットされたことを確認できます。

**2.2.34. B2B を使用して発注する場合、カスタマー スマート アカウントに直接注文を割り当てるにはどうすればよいでしょうか。**

B2B システムを通じて発注する場合、システムと XML フォームに必要な変更を加えた場合のみ、B2B システムから特定のスマート アカウントにスマート アカウントを指定できます。システムにこれらの変更を加えていない、または加えたくない場合は、デフォルトのパートナー ホールディング スマート アカウントが必要です。B2B システムを通じて発注すると、自動的にデフォルトのパートナー ホールディング スマート アカウントにルーティングされます。そこから CCW に移動して、パートナー ホールディング スマート アカウントからカスタマー スマート アカウントに注文を割り当てる必要があります。

**2.2.35. B2B 経由で注文する場合、パートナー ホールディング スマート アカウントからカスタマー スマート アカウントに注文を再割り当てするにはどうすればよいですか。**

B2B ユーザは、引き続き[このトレーニング](#)で説明されているプロセスに従って、CCW にログインし、注文を検索し、パートナー ホールディング スマート アカウントからカスタマー スマート アカウントに割り当てを変更/再割り当てする必要があります。B2B 側でスマート アカウント機能を実装すると、ユーザはカスタマー スマート アカウントに注文を直接割り当てることができ、カスタマー スマート アカウントが不明または設定されていない場合にのみ、この追加手順を実行する必要があります。

**2.2.36. B2B のデフォルトのホールディング スマート アカウントは、CCW でエンタープライズまたはシスコアカウントにご登録の E メールアドレス レベルで設定されていますか。**

社内のシスコアカウントにご登録の E メールアドレス は、B2B を通じて発注された CCW でデフォルトのパートナー ホールディング スマート アカウントを設定する必要があります。大規模なグローバル企業で、複数のパートナー ホールディング スマート アカウントが必要な場合は、異なるシスコアカウントにご登録の E メールアドレスを使用するときに地域ごとに異なるデフォルトアカウントを設定できます。

### 2.2.37 パートナーのホールディングアカウントからスマート アカウントにライセンスを移動するにはどうすればよいですか。注文に戻って、スマート アカウントに事後追加するオプションはありますか。

ホールディングアカウントが割り当てられると、注文の送信時にカスタマー スマート アカウントの割り当てが必要であることを知らせる通知が送信されます。これらの通知を受信するには、ユーザがホールディングアカウントのアクセス権を持ち、**Cisco Software Central** のユーザ設定で通知設定する必要があります。

スマート アカウントまたはバーチャル アカウント管理者とパートナー ホールディング アカウントのユーザは、**CCW** に移動して、パートナー ホールディング アカウントからカスタマー スマート アカウントに注文を割り当てることができます。

詳細については、次のオンデマンド トレーニング モジュールを参照してください。

[スマートアカウントを使用したシスコ ソフトウェア CCW の見積もりと注文 \(パートナー向け\)](#)

また、この短いビデオオンデマンドを確認することもできます。

[注文をパートナーのホールディングアカウントからスマート アカウントに再割り当てする方法](#)

### 2.2.38. 従来型 PAK SKU がある場合、発注時にスマート アカウント ドメインを割り当てると、両方の方法で配信されますか。つまり、eDelivery E メールが送信され、スマート アカウントに表示されますか。

はい。PAK は両方の方法で提供されます。

### 2.2.39. お客様の電子メールアドレスを使用して CCW でスマート アカウントを検索できますか。

はい。パートナーユーザは、お客様の連絡先の電子メール ID を使用して、**Cisco Commerce (CCW)** でスマート アカウントを検索できます。検索結果には、電子メール ID が属しているすべてのスマート アカウントと同じ電子メールアドレスの他のスマート アカウントが表示されます。各スマート アカウント ユーザは、**Cisco Software Central** → [スマートアカウントの管理 (Manage Smart Account) ] → [アカウントのプロパティ (Account Properties) ] から、電子メールによるスマートアカウント検索を「許可する」または「許可しない」ことができます。

### 2.2.40. CCW の注文に割り当てるスマート アカウントがわからない場合、Cisco Commerce (CCW) でスマート アカウントを割り当てる別のユーザを指定できますか。

適切なスマート アカウントが見つからない場合は、スマート アカウントの割り当てにユーザを指定できます。**CCW** での注文でスマート アカウントが不明または利用不可能な場合は、**Order Based Access (OBA)** 電子メール ID を入力できます。**OBA** オプションを使用すれば、エンドカスタマーを把握しているユーザと注文を共有できます。そのため、指名されたユーザは、**CCW** を利用せずに注文にアクセスして、エンドカスタマーのスマートアカウントに割り当てることができます。

詳細については、次のオンデマンド トレーニング モジュールを参照してください。

[スマートアカウントを使用したシスコ ソフトウェア CCW の見積もりと注文 \(パートナー向け\)](#)

2.2.41. Cisco Commerce で割り当てているスマート アカウントが [お客様受入保留中 (Pending Customer Acceptance)] であるため、スマート アカウントがまだアクティブでない場合はどうすればよいですか。

選択したスマート アカウントが [お客様受入保留中 (Pending Customer Acceptance)] ステータスにある場合は、追加のスマート アカウント作成者 (承認者) を指定できます。

詳細については、次のオンデマンド トレーニング モジュールを参照してください。

[スマートアカウントを使用したシスコソフトウェア CCW の見積もりと注文 \(パートナー向け\)](#)

2.2.42. シスコは各 CCW 注文にパートナー ホールディング アカウントを自動的に割り当てることができますか。

[Cisco Software Central \(CSC\)](#) では、ホールディング スマートアカウント管理者はパートナー ホールディング スマート アカウントにアクセスでき、また、パートナーの請求先 ID (シスコが管理するパートナーの会社 ID にリンク) をパートナーのホールディングアカウントに関連付けることができます。

Cisco Commerce で注文が行われ、パートナー ホールディング スマート アカウントが明示的に割り当てられていない場合、注文作成者の請求先 ID を使用して対応する会社 ID が取得され、会社 ID から、その ID にマッピングされているパートナー ホールディング スマート アカウントが注文に自動的に割り当てられます。詳細については、クイック リファレンス ガイド『[How to Associate a Partner BIDs to a Partner Holding Account in CSC ORG \(CSC ORG でパートナー BID をパートナーホールディングアカウントに関連付ける方法\)](#)』 [英語] を参照してください。

2.2.43. CCW のテクニカルサービスにスマート アカウントを割り当てることはできますか。

テクニカルサービス品目にスマート アカウントを割り当てる新しいオプションがあります。パートナーは、エンド カスタマー スマート アカウントを、エンドカスタマーにより処理されるシスコ ブランド サービス品目に割り当てることができます。

パートナーは、パートナー カスタマー スマート アカウント (パートナー スマート アカウントとも呼ばれます) を、パートナーにより処理されるパートナー ブランド サービス品目に割り当てることができます。テクニカルサービスへのスマート アカウントの割り当ては現在のところオプションであることに注意してください。

今後、スマート アカウントに割り当てられたテクニカルサービスは **My Cisco Entitlements** ポータルで管理されますが、現時点では新しいエンタイトルメント エクスペリエンスはまだ利用できません。現時点では、お客様とパートナーには、Cisco Commerce でのみ、テクニカルサービスへのスマート アカウントの割り当てが表示されます。

## 2.3. Smart Software Manager (SSM) でのスマートライセンスの管理

2.3.1. スマート ソフトウェア ライセンスはどのように管理されますか。

お客様は、Smart Software Manager で会社全体のライセンス導入を簡単かつ迅速に自己管理することができます。Cisco Smart Software Manager は、お客様またはパートナーが購入したスマート ソフトウェア ライセンスの記録を維持するクラウドベースのツールです。これにより、ユーザはライセンスをバーチャル アカウント (プール) にグループ化できます。製品が登録されてアクティブ化された後、システムはライセンスの使用状況をリアルタイムで維持します。ユーザには、バーチャル アカウントのライセンスのステータスに関するアラート (期限切れ間近、期限切れ、不足)、イベントログ、およびサマリー電子メールによって通知されます。

**2.3.2.** お客様は、いずれかの製品のいずれかのライセンスを別のデバイスに移行できますか。

スマート製品の場合、すべてのライセンスは各バーチャル アカウント内にプールされます。バーチャル アカウント内で互換性のある製品から別の製品にライセンスを移動するには、ある製品で機能を設定解除し、別の製品で設定するだけです。必要に応じて **SSM** にアクセスし、バーチャル アカウント間でライセンスを転送できます。

**2.3.3.** パートナーが同じ注文でハードウェアとソフトウェアを購入する場合、ソフトウェア ライセンスは多くの場合、お客様のスマート アカウントにすぐに割り当てられますが、ハードウェアは数週間後に提供されます。ソフトウェアライセンスがターム & コンテンツの場合、ライセンス期間はハードウェアの提供前に開始されますか。

はい。ハードウェアが提供されない場合でもライセンス期間が開始されます。ライセンスは技術的には別のハードウェアに使用できることに注意してください。

回避策として、お客様はハードウェアを事前に別の注文で発注し、次に **2** 回目（ハードウェアの発注から数週間後）の注文でソフトウェアを発注することができます。

**2.3.4.** デバイスはいつアクティブ化されますか。

ライセンスがカスタマー スマート アカウントにデポジットされると、すぐに請求が開始されます。ライセンスは、エンドユーザがライセンスをアクティブ化するまで、つまり期間が開始されるまで、非アクティブの状態です。ユーザがライセンスを購入するとすぐに課金が始まるため、できるだけ早くライセンスをアクティブ化することをお勧めします。デモライセンスの場合は、アカウントにデポジットされるとすぐにアクティブ化されます。

**2.3.5.** 期限切れに関する警告が表示されたライセンスはどこで更新できますか。

ソフトウェアライセンスは現在 **CCW-R** で更新できます。

**2.3.6.** お客様が別のパートナーのスマート アカウントを持っている場合はどうなりますか。これは、更新にどのように影響しますか。

スマート アカウントは、（パートナーではなく）エンドカスタマーに対応します。エンドカスタマーは、スマート アカウントを最初に設定したユーザに関係なく、パートナーとの更新を選択できます。

**2.3.7.** スマートライセンス対応製品を登録してアクティブ化するプロセスはどのようなものですか。

スマートライセンス対応製品の登録とアクティブ化の手順は次のとおりです。

1. **SSM** オンプレミスまたは **SSM** クラウドでデバイスの初期登録トークンを作成するか、有効な既存の登録トークンを使用します。



2. デバイスが **SSM** オンプレミスに関連付けられている場合は、デバイスの **Smart Call Home** 機能を設定して、デバイス情報を **SSM** オンプレミスに送信できるようにします。**SSM** クラウドがデフォルトであり、追加の設定は不要です。
3. 「(exec)license Smart register idtoken」 コマンドを使用して、デバイスにトークンを設定します。
4. デバイスが **SSM** に接続され、アクティベーションに関する通知が受信されます。
5. デバイスの製品インスタンスが **SSM** ディスプレイに表示されます。

### 2.3.8. ライセンス情報はどのようにシスコに報告されますか。

シスコ スマート ソフトウェア ライセンスでは、ソフトウェア使用状況データを収集するための柔軟な導入オプションがいくつか用意されています。お客様は、異なるシステムから単一または複数の方法でのデータ転送を選択できます。次のオプションを使用できます。

- お客様のシステムとシスコクラウドシステム間のダイレクトインターネット接続。これはデフォルトのオプションです。
- エンドシステムと Cisco スマートアカウント間の接続を仲介するために、**HTTPS** プロキシを使用できます。**Cisco Smart Call Home** トランスポートゲートウェイを無料で使用することも、独自の **https** プロキシシステムを使用することもできます。
- **CSSM** オンプレミスはオンプレミスのライセンスマネージャです（データコレクター）。**CSSM** オンプレミス（旧 **SSM** サテライト）は、オンライン自動ファイル交換またはオフライン（エアギャップ）手動ファイル交換によって、シスコと定期的に情報を交換する保存&転送型ライセンスマネージャです。詳細については、下のセクション **3.4** を参照してください。

### 2.3.9. シスコは、Cisco.com への接続を希望しないお客様にどのようなセキュア接続オプションを提供していますか。

シスコ製品は、インストール/プロビジョニング時にスマート ライセンスを使用するように設定されています。インベントリに関するほぼリアルタイムの情報を受け取るには、製品のインスタンスを、特定の更新期間中に **SSM** サーバに定期的に接続する必要があります。顧客の会社のニーズに応じて **5** つのオプションがあります。

1.デフォルトのオプションは [ダイレクトクラウドアクセス (**Direct Cloud Access**)] です。これは **HTTPS** 経由の直接接続です。このオプションを選択すると、製品からインターネットを介して情報が直接送信されます。追加のコンポーネントは不要です。ほとんどのお客様がこのオプションを問題なく利用できます。

2.2 番目のオプションは、**HTTPS** プロキシを使用して、背後のネットワークをマスクし、インターネットに対しては単一の **IP** アドレスを提供します。**Smart Call Home Transport Gateway**（無料の **VM** ダウンロードが利用可能）を使用することも、既製のプロキシ (**Apache** など) を使用することもできます。シスコの [Smart Call Home トランスポートゲートウェイ](#)の無料ダウンロードリンクを確認してください。

3.オプション 3 は、接続モードの仲介型展開で、オンプレミスのライセンス管理によるアクセスです。シスコ製品は、使用状況情報をローカルにインストールされたオンプレミスに送信します。**SSM** オンプレミスは、**Smart Software Manager** と同じ機能を持ち、それをお客様のローカルネットワーク（オンプレミス）に持ち込みます。

デバイスは **SSM** オンプレミスと直接通信し、**SSM** オンプレミスは製品登録に使用される ID トークンを発行します。**SSM** オンプレミスは、お客様が設定した頻度でシスコと同期します（同期は月次、日次、週次、または月の特定の日に設定できます）。

**4. オプション 4 も仲介型展開です。つまり、SSM オンプレミスを介したオンプレミスライセンス 管理によるアクセスですが、エアギャップモードです。**このオプションでは、**SSM** オンプレミスコレクタを通じて情報がオフラインで転送されます。**SSM** オンプレミスによるオフライン転送は、ネットワークが完全に切断されているお客様に適しています。お客様は **30** 日ごとに、または必要に応じて、手動で同期を行います。

一般的に、**SSM** オンプレミスオプション（接続モードまたは非接続モード）は、**SSM** オンプレミスを展開して維持することで管理オーバーヘッドを気にしないお客様に有効です。**SSM** オンプレミス オプションの使用の詳細については、[SSM オンプレミス](#) ページを参照してください。

**5. オプション 5 も使用できます。**これは、**SLR (Specific License Reservation : 特定のライセンス予約)** です。製品と **Cisco.com** 間で情報をコピー/ペーストし、手動でライセンスのチェック イン/チェックアウトを行います。機能的には旧来のノード ロックと同等ですが、スマート ライセンスのトラッキング機能が利用できます。

詳細については、次のトレーニングを参照してください。[スマート アカウントを使用したシスコソフトウェアスマート ライセンスの管理](#)

### 2.3.10. 輸出法令遵守の考慮事項はありますか。

スマートライセンスには、シスコが米国の輸出規制に準拠するためのメカニズムが含まれています。主なメカニズムは、一部のお客様に、特定の機能を有効にする前に制限付きライセンスを注文するように求めることです。この発注が行われると、シスコは既存の政府発行の輸出ライセンスの存在を確認するか、新しい輸出ライセンスを申請します。シスコがエクスポートライセンスの存在を確認すると、注文がリリースされ、指定された数量で機能を有効にできます。制限された機能を有効にする方法については、具体的な製品ドキュメントを参照してください。輸出の詳細については、グローバルな輸出貿易 ([Global Export Trade](#)) を参照してください。

### 2.3.11. スマート アカウントにデバイスを登録するためには、お客様にシスコへのアウトバウンド接続が必要ですか。

お客様は、アウトバウンド接続を必要とするか、**Smart Call Home** トランスポートゲートウェイ/HTTPS プロキシなどの情報転送テクノロジーを使用するか、スマート ソフトウェア オンプレミスを使用してスマート アカウントをローカルに確立する必要があります。これらのメカニズムについては、上記の **2.3.8** で説明しています。



### 2.3.12. お客様がシスコとデバイスでやり取りしたくない場合はどうすればよいですか。

お客様がデバイスでシスコとのやり取りを希望しない場合は、**SSM** オンプレミスを使用する必要があります。このソリューションにより、デバイスとシスコとの直接的な通信が不要になります。お客様は、お客様のサイト内に **SSM** オンプレミスを構築する **SSM** オンプレミスは、直接 **HTTPs** または「オフライン」**HTTPs** ファイル交換を介して、シスコと定期的に（お客様が設定可能）通信します。ただし、1 年以内に **SSM** オンプレミスがシスコと通信しない場合、デバイスは自動的に登録解除されます。

### 2.3.13. 非稼働状態のスマートライセンス対応デバイスがシスコへインターネット接続されない時はどうなりますか。

ネットワークとの通信/接続が 1 年間行われないと、スマートライセンス対応デバイスの **ID** 証明書の有効期限が切れ、デバイスの登録が解除されます。注：スマートライセンス対応デバイスが過去 30 日以内に通信しなかった場合、アラートが表示され、90 日後にライセンスの使用がリリースされます。**ID** 証明書が取り消されると、製品は評価モードに戻り、特定の製品評価ポリシーの条件に基づいて機能が低下する可能性があります。

### 2.3.14. スマートライセンス対応デバイスは最終的にライセンス可能な機能を失いますか。

スマートライセンス対応デバイスの **ID** 証明書は、1 年間通信がない状態の後に期限切れになります。シスコには、ライセンス予約と呼ばれるエアギャップ環境機能があり、この機能では、お客様はライセンスを永続的に展開できます（デバイスをシスコまたは **CSSM** オンプレミスに接続する必要はありません）。

### 2.3.15. スマート アカウントには何台のデバイスを保持できますか。

お客様は、スマートアカウントに希望する任意の数のデバイスを接続できます。ただし、スマート ソフトウェア オンプレミスを使用している場合、既存のシステムは **SSM** オンプレミス **6.0** 以降で **10,000** 台のデバイスをサポートできます。それ以前のオンプレミス/サテライトバージョンでは、最大 **4,000** 台のデバイスをサポートします。

### 2.3.16. エンタイトルメントはいつ従来型からスマートに変更できますか。

ご質問の対象製品がスマートライセンスをサポートしている場合、お客様が製品のスマートバージョンにアップグレードする資格がある場合、お客様はライセンス登録ポータルからご自身で移行を開始できます。

### 2.3.17 権限付与の従来型からスマートへの変更を開始するには、どうすればよいでしょうか。

お客様は、スマートバージョンのソフトウェアをダウンロードしてインストールし、デバイスをスマートモードで有効にし、お客様のスマート アカウントから生成された登録トークンを使用してデバイスをスマート アカウントに登録することで、このプロセスをご自身で開始できます。エンタイトルメントの移行を検知すると、自動的にお客様のスマート アカウントに移行されます。

また、お客様は、未使用の従来の **PAK** をスマート アカウントに移行して、後でスマートモードの製品で使用することもできます。このプロセスは、ライセンス登録ポータルから利用できます。

**2.3.18.** 製品インスタンスをあるバーチャル アカウントから別のバーチャル アカウントに転送すると、対応するライセンスは転送されますか。あるいはライセンスは個別に転送する必要がありますか。

デバイスを転送する場合、そのデバイスが使用しているライセンスは転送されません。これにより、「新しい」バーチャル アカウントが遵守違反になる可能性があります。したがって、ライセンスも転送する場合は、個別に転送します。

**2.3.19.** 同じソフトウェアトークンを使用して、異なるソフトウェアライセンスを **Smart Software Manager** に登録できますか。

トークンを使用して、異なる製品ファミリーでも、いくつでもデバイスを登録できます。同じバーチャル アカウントから両方のデバイスのライセンスを使用する場合は、同じ有効な（期限切れまたは失効していない）トークンを使用して、異なる製品ファミリーの **2** つのデバイスを登録できます。

**2.3.20.** パートナーは、異なる国や地域の間でライセンスを移動できますか。ある国または地域から別の国または地域にライセンスを移行できる場合、法的および経済的にどのような影響がありますか。

これは、ライセンス、ライセンスの転送元の国、ライセンスの転送先の国によって異なります。そのため、これらの要因により、可能性のある答えは膨大な数になります。シスコは、パートナー/お客様が現地法の文言に従っていることを確認する責任を負いません。これは、これまでもこれからも、パートナー/お客様の責任です。

**2.3.21.** ライセンスの有効期限が切れた場合、お客様はただちに遵守違反になりますか。そうでない場合、どのくらい猶予がありますか。

ライセンスの期限切れの準備が整うと、お客様は **Cisco Smart Software Manager** で通知を受け取ります（通知の受信を選択した場合は電子メールでも通知されます）。ライセンスの有効期限が切れると、**Smart Software Manager** のステータスが直ちに更新されます。製品が変更を反映するまで最大 **30** 日かかる場合があります。これは、製品が **30** 日ごとにチェックインするためです。製品は、遵守違反状態で無期限に実行される可能性があり、大部分の製品は正常に動作し続けます。これは製品に依存しており、少数の例外があることに注意してください。製品の詳細については、[製品概要](#)を参照してください。

2.3.22. スマートライセンスではどのようなレポートツールを使用できますか。パートナーがスマート アカウントのライセンス使用状況を監視するためにどのようなレポートツールが利用できますか。

[Cisco Smart Software Manager](#) には [レポート (Reports) ] セクションがあり、ライセンス、ライセンス サブスクリプション、および製品インスタンスに関するレポートをダウンロードできます。すべてのレポートはブラウザで表示したり、CSV や XLS にエクスポートしたりできます。

[Smart Software Manager](#) には、[Cisco Software Center](#) からアクセスできます。

詳細については、次のトレーニングを参照してください。[スマート アカウントを使用したシスコソフトウェアスマートライセンスの管理](#)

2.3.23. 製品インスタンスは、決まった更新期間中、SSM サーバに定期的に接続する必要があることは知っています。製品はどのくらいの頻度で情報を送信しますか。毎日行われるのでしょうか、1 日に複数回行われるのでしょうか、それとも異なる頻度でしょうか。

デバイスは、30 日ごと、またはライセンス使用の変更が発生するたびに（たとえば、デバイスが新しいライセンスの使用を開始または停止した場合）、Cisco SSM または SSM オンプレミスに接続します。製品は再起動後にも通信します。

SSM オンプレミスは、お客様が設定した頻度で SSM サーバと通信します。月次、日次、週次、または月の特定の日に設定できます。毎日の同期が推奨されますが、スケジュールの設定はお客様の責任で行ってください。これは、SSM オンプレミス設置ガイドに記載されています。設置ガイドは、Cisco.com SSM のページ (<https://www.cisco.com/c/en/us/buy/smart-accounts/software-manager.html>) にあります

2.3.24. セルフサービスでのライセンスのプロビジョニングとは何ですか。

製品インスタンスを登録すると、インベントリにライセンスを追加できるようになります。特定の製品ライセンスについて、追加したライセンスにアクセスできるよう、製品タグ、UDI PID と数量へのマッピングに基づいて、無料ライセンスを追加することが可能になります。これは特に、CUBE や CSR などの製品に適用されます（ただし、これらに限定されるものではありません）。

詳細については、次のトレーニングを参照してください。[スマート アカウントを使用したシスコソフトウェアスマートライセンスの管理](#)

2.3.25. CSSM で SO 番号と PO 番号を確認するにはどうすればよいですか。

ユーザは、[インベントリ (Inventory) ] -> [ライセンス (Licenses) ] タブでライセンス行をクリックできます。詳細な使用状況情報の画面が表示されます。ここで [トランザクション履歴 (Transaction History) ] タブをクリックすると、SO 番号、トランザクション日などの詳細を表示できます。

この情報を簡単に取得するために、スマートアカウント管理者は **CSSM** の [設定 (Preferences)] タブから [インベントリタブのライセンスのトランザクション詳細を表示 (Show License Transaction Details in Inventory)] を有効にできます。これが完了すると、[インベントリ (Inventory)] -> [ライセンス (Licenses)] タブに表示されるライセンスの横に「+」が表示されます。[+] をクリックしてエントリを展開します。これで、ユーザには、SO 番号、注文で入力された PO 番号、およびその他の情報が表示されます。

## 2.4. Smart Software Manager オンプレミス

### 2.4.1. Smart Software Manager オンプレミスはどのように機能しますか。

3. スマート ソフトウェア マネージャ オンプレミスをインストールすると、お客様のデバイスは、直接クラウドベースのスマート アカウントと通信するのではなく、**SSM** オンプレミスと通信します。製品インスタンスは、クラウド内の **Cisco Smart Software Manager** と直接通信しているように動作します。お客様は、月に 1 回（またはより頻繁に）、**Smart Software Manager** オンプレミスと **Smart Software Manager** クラウドの間でデータベースを同期し、これにより、ローカルデータベースがお客様全体のライセンス状態で更新され、お客様のローカル使用状況でスマート アカウントが更新されます。**SSM** オンプレミスは、お客様が設定した頻度でシスコと同期します（同期は月次、日次、週次、または月の特定の日に設定できます）。

この同期は、次の 2 つのうちいずれかの方法で実行できます。

- 指定した頻度でダイレクトアクセスを有効にします。
- 間接的な手段（**USB** ドライブなど）を介してアップロードツールに転送される、読み取り可能な（**YAML** 形式の）更新ファイルを取得することで、間接的アクセスができます。読み取り可能な応答ファイルが生成され、**Smart Software Manager** オンプレミスに挿入して同期を完了できます。

### 2.4.2. 切断されたサーバがライセンス情報の転送に使用されるのはなぜですか。

スマート ソフトウェア ライセンスにより、お客様または承認されたパートナーは、各ライセンスを特定の 1 つのデバイスのみには付加するのではなく、デバイス間でライセンスをプールして共有することができます。この機能は、現在の使用要件に合わせて組織全体にライセンスを配布し、ビジネス要件の変化に応じて他のデバイスに簡単に移行できるため、お客様にメリットがあります。

このライセンス プーリング アプローチにより、お客様のライセンスの使用状況は頻繁に変更される場合があります。スマート ソフトウェア ライセンスでは、お客様、お客様が選択したパートナー、およびシスコに表示されるライセンスの使用状況とインストール ベース データを最新かつ正確に把握するために、お客様が展開したシスコ製品とお客様のシスコ スマート アカウントとの間で情報を転送する必要があります。

一部のお客様については、インフラストラクチャのセキュリティに細心の注意が払われているため、データ収集ユニットがインターネットやその他の企業システムに接続されていない場合があります。**Smart Software Manager** オンプレミス、つまりそのデータ収集ユニットは、ローカルデータベースとして機能し、関連付けられているローカルネットワークの信頼できる情報源として機能し、クラウドベースのスマート アカウントへのアクセスが制限されているか、アクセス権がありません。そのようにして、組織のデータとシステムに必要なセキュリティを維持します。

### 2.4.3. お客様は、Smart Software Manager オンプレミスを展開した場合、どのようにライセンスの使用状況をリアルタイムで把握できますか。

クラウドベースの **Smart Software Manager** とお客様の **Cisco** スマートアカウントは、引き続き全体的なライセンス状態の真の情報源ですが、お客様は **Smart Software Manager** オンプレミスで直接ローカル情報を確認できます。クラウドベースのバージョンと同じユーザインターフェイスを使用し、お客様はそのインターフェイスを使用してローカルのソフトウェア使用状況とローカルのライセンス遵守状況を理解することができます。**Smart Software Manager** オンプレミスにはそこに登録された製品のライセンス使用に関する最新情報があり、**SSM** クラウドにはライセンスの購入と所有権に関する最新情報があります。オンプレミスからクラウドへの定期的な同期により、それぞれが最新の情報とステータスを交換できます。

### 2.4.4. お客様は、Smart Software Manager オンプレミスを使用するためにシスコ製品を個別に設定する必要がありますか。

製品設定に必要な変更は、**Smart Call Home** 通信の宛先を変更することだけです。宛先の設定方法については、お客様は、該当する製品ドキュメントを参照する必要があります。**SSM** オンプレミスへの製品の登録以外の変更は必要ありません。

### 2.4.5. 誰が、お客様による Smart Software Manager オンプレミスソリューションのセットアップを支援しますか。

お客様は TAC (<https://www.cisco.com/c/en/us/support/index.html>) に連絡するか、[Support Case Manager](#) (SCM) からケースをオープンできます。

### 2.4.6. パートナー（サービスプロバイダー）が自社のネットワーク内にすべてのお客様のデバイスを持っている場合はどうなりますか。シスコのボックスがコールホームする必要がある場合、これを有効にするためにサービスプロバイダーがネットワークからインターネットに許可する必要がある、ポート/IP アドレスのリストはありますか。

はい。[tools.cisco.com](https://tools.cisco.com) です。**Cisco Smart Software Manager (SSM)** ([cisco.com](https://cisco.com)) の場合は、[tools.cisco.com](https://tools.cisco.com) (ポート 443) を使用してください。以下に、**SSM** および **SSM** オンプレミス向けの認証されたバックエンドとポートに関する情報を示します。



## 承認済みのバックエンド



**Cisco Smart Software Manager (SSM) (cisco.com)**

**HTTPS:** tools.cisco.com (ポート 443)

**HTTP:** www.cisco.com (ポート 80) (Cert Downloads)



**SSM オンプレミス(旧 SSM サテライト)**

**ユーザインターフェイス:** HTTPS (ポート 8443)

**製品登録:** HTTPS (ポート 443) 、 HTTP (ポート 80)

**SSM への通信:** HTTPS (tools.cisco.com、 api.cisco.com、 cloudssso.cisco.com、 swapi.cisco.com) ポート 443

## 2.5. お客様に代わってスマートライセンスを管理する

### 2.5.1. パートナーはどのようにお客様に代わってライセンスを管理できますか。

お客様は、カスタマー スマート アカウントでパートナーを新しいユーザとして追加できます。お客様が提供するアクセスレベルに応じて、お客様がパートナーに割り当てることができるユーザロールは **4** つあります。

- スマートアカウント管理者：パートナーは、スマート アカウント全体のライセンスインベントリを表示および管理でき、また、アカウントプロパティの編集、バーチャル アカウントの追加/編集または削除、ユーザの追加/編集または削除、スマートライセンス契約などアカウント管理アクティビティを実行できます。
- バーチャル アカウント管理者：パートナーは、アクセスが付与された特定のバーチャル アカウントのみライセンスの表示と管理を許可できます。パートナーは、バーチャル アカウントの管理者とユーザを追加/編集および削除することもできます。
- スマート アカウント ユーザ：パートナーは、スマートアカウント全体のライセンスインベントリの表示と管理ができますが、パートナーは新しいバーチャル アカウントの作成またはユーザ管理アクティビティは実行できません。
- バーチャル アカウント ユーザ：パートナーは、割り当てられたバーチャルアカウントのライセンスインベントリの表示と管理ができます。パートナーは、割り当てられたバーチャル アカウント内のユーザを追加、編集、削除できません。



ライセンス管理のみの場合、スマート アカウント ユーザまたはバーチャル アカウント ユーザのロールが適切です。詳細については、[クイック リファレンス ガイド「スマートアカウントを管理するパートナーを割り当てる」](#)を参照してください。

**2.5.2.** お客様が複数のパートナーを使用している場合、すべてのパートナーがお客様に販売していない製品のライセンス使用状況を確認できますか。お客様は、パートナーが表示できるものを制限できますか。

2 社の異なるパートナーがスマート アカウントの管理者アクセス権を持っている場合、パートナーが販売したかどうかに関係なく、お客様が所有するすべてのライセンスを確認できます。お客様は、どのパートナーがどのライセンスを見るかを制限できます。ビューを制限するために、お客様は複数のバーチャル アカウントを作成し、1 つのバーチャルアカウントには 1 つのパートナーのみからライセンスをデポジットすることができます。これにより、ライセンスを保持しているバーチャル アカウントにのみパートナーにアクセスを提供でき、これにより、別のパートナーから購入したライセンスを保持している他のバーチャルアカウントの表示が制限されます。

**2.5.3.** 多くのソフトウェア管理者がいる大規模なカスタマーベースの注文を管理し、割り当てるにはどうすればよいですか。また、これらのソフトウェアライセンスへのアクセス権を適切に付与することをどのように保証できますか。

この問題は、バーチャル アカウントで解決されます。CCW で発注する場合、パートナーはエンドカスタマーのスマート アカウントを発注に割り当て、ライセンスはエンドカスタマーのスマート アカウントとデフォルトのバーチャル アカウントに配置されます。購入後、エンドカスタマーは別のバーチャル アカウントにライセンスを移動できます。エンドカスタマーは、資産（ライセンス）の整理と分割の方法に基づいて、複数のバーチャル アカウントを作成できます。バーチャル アカウントは、部門別、組織単位別、ビジネス単位別、事業部門別（ネットワークング、コミュニケーション、セキュリティなど）に分類できます。エンドカスタマーが複数のパートナーと連携している場合、たとえば 2 つの異なるパートナー用に 2 つのバーチャル アカウントを作成し、各 VA へのアクセス権を各パートナーに付与できます。

お客様がパートナーにライセンスを割り当てるバーチャル アカウントを指示した場合、パートナーは項目に基づいてバーチャル アカウントを注文に追加できます。ライセンスはそのバーチャル アカウントに直接配信されるため、デフォルトのバーチャル アカウントからライセンスを移行する必要がなくなります。

**2.5.4. Cisco Smart Software Manager** ではどのブラウザを使用できますか。

Safari、Firefox、Chrome、および Internet Explorer が、サポートされているブラウザです。ブラウザは、Mac OSX および Microsoft Windows 7 でテストされています。

**2.5.5.** スマート ソフトウェア ライセンスの詳細については、どこに問い合わせればよいですか。

ソフトウェアライセンスのサポートについて質問がある場合は、[Support Case Manager](#)（SCM）でケースをオープンしてください。

SCM でケースを作成する方法の詳細については、[こちら](#)をご覧ください。

### 2.5.6. 使用権ライセンスは将来 **SSM** で管理されますか。

**RTU** ライセンスは **SSM** のインベントリに参照用に表示され、製品のスマート ライセンス対応バージョンがリクエストするまでは使用されません。

## 2.6. サービスプロバイダーとしてのライセンスの管理

### 2.6.1. サービスプロバイダーはスマート アカウントをどのように運用しますか。

サービスプロバイダーは、実質的にエンドカスタマーに一定期間「レンタル」されたライセンスを所有します（エンドカスタマーはサービスプロバイダーから「使用権」を受け取ります）。したがって、ライセンスはサービスプロバイダーのスマート アカウントにデポジットする必要があります。これは、資産の所有者が保有するスマート アカウントの所有者でもあるためです。

サービスプロバイダーは、発注時に **Cisco Commerce Workspace** で、彼ら自身のカスタマースマート アカウントにライセンスを割り当てます。その後、サービスプロバイダーのカスタマー スマート アカウント内の異なるバーチャル アカウントにライセンスを割り当てることができます。

バーチャル アカウントを使用して、ライセンスのアクセス制御を可能にできます。サービスプロバイダーは、組織やビジネスモデルのニーズに応じてバーチャル アカウントを整理できます。たとえば、事業部門、製品ファミリ、部門、地域、その他の組織単位ごとにバーチャル アカウントを作成できます。

お客様の資産使用状況の可視性を維持するために、**Cisco Smart Software Manager** でのフィルタリング用に、お客様固有のプレフィックスを使用してデバイスに名前を付けることができます。

サービスプロバイダーは、サービスの提供に加えて、シンプルなパートナー再販モデルでお客様に資産を販売することもできます。サービスプロバイダーは、アウトソーシングされた IT ソリューションを提供することもできます。つまり、エンドカスタマーのスマート アカウントでお客様が所有するライセンスを管理します。

### 2.6.2. サービスプロバイダーは、エンドカスタマー間でライセンスを移動できますか。

従来の **PAK** ライセンスでは、従来のライセンスと製品がペアリングされているため、サービスプロバイダーは、エンドカスタマー間でライセンスを転送するための再ライセンス料を伴う再ホスティングプロセスを実行する必要があります。スマートライセンスでは、サービスプロバイダーは実質的に所有しているライセンスをお客様に貸し出しているため、自由に移動させることができます。サービスプロバイダーがスマート アカウント内のバーチャル アカウント間で移動するライセンスに制限はありません。

### 2.6.3. ライセンスを所有し、お客様がライセンスを使用できるようにすることに関して、サービスプロバイダーにメリットはありますか。

サービスプロバイダーは、ライセンスの使用状況の可視性が得られるため、運用コストを削減できます。サービスプロバイダーが製品を移動すると、現在の製品で使用されていないスマートライセンスを新しい製品に移行できます。これにより、ライセンスをより効率的に使用できます。

## 2.7. Cisco ONE 用スマートライセンスおよびスマート アカウント

### 2.7.1. クライアントが Cisco ONE を購入する際に、スマート アカウントを取得するのはどのようなプロセスですか。

Cisco ONE 製品オファーのほとんどには従来型の製品アクティベーションキー (PAK) ライセンスが含まれており、Cisco Commerce Workspace (CCW) での発注時にスマート アカウントをオプションにすることができます。現在、Cisco ONE でスマートライセンスを使用している製品は、UCS、Firepower 41xx、および Firepower 91xx のみです。ただし、シスコは、従来型ライセンスとスマートライセンスの両方でスマート アカウントが必要になる方向で進めています。

スマート アカウントは、お客様が Cisco ONE ライセンスの使用状況を (Smart Software Manager 内で) 管理および追跡するための手段であるため、Cisco ONE にとって重要です。CCW で注文にスマート アカウントを割り当てるか、ライセンス登録ポータル (LRP) で注文後に割り当てることをお勧めします。お客様は LRP にアクセスして PAK やライセンスファイルを確認します。スマート アカウントに関連付ける PAK をクリックし、[スマートアカウントに関連付ける (Associate to Smart Account) ] を選択します。

### 2.7.2. Cisco One スマート アカウントの条件の詳細について説明してください。

以前は、Enterprise Cloud Suite にはスイート内にスマートライセンス対応製品があり、発注時にスマート アカウントが必要でした。最近、このバンドルが更新され、注文時にスマート アカウントを割り当てる必要がある Cisco ONE スイートに含まれるスマートライセンス対応製品はなくなりました。

### 2.7.3. お客様は、製品認証キーを介してスマート アカウントを使用し、Cisco ONE の権限を管理および表示できますか。

はい。カスタマーは、カスタマー スマート アカウントで Cisco ONE の権限、製品認証キー、およびライセンスを表示できます。Cisco ONE バンドルのスマート要素と非スマート要素を、発注時にスマート アカウントに直接割り当てることができます。その後、ユーザは [ライセンス登録ポータル](#) (LRP) を使用して、そのスマート アカウントに配置された製品認証キーを表示できます。Cisco ONE のスマート対応部分は、[Cisco Smart Software Manager](#) で表示できます。

### 2.7.4 Cisco ONE の導入を管理するためのベストプラクティスを教えてください。

すぐにエンドカスタマーのスマート アカウントを要求し、カスタマーライセンス管理の連絡先となる担当者を確認して、スマートアカウント管理者として割り当てます。

### 2.7.5. お客様は既存の Cisco ONE ライセンスをスマート アカウントに追加できますか。

はい。お客様は、Cisco ONE ライセンスを [LRP](#) のスマート アカウントに割り当てることができます。パートナーは、発注時に [CCW](#) で Cisco ONE ライセンスにスマート アカウントを割り当てることができます。Cisco ONE 製品オファーには、従来の製品アクティベーションキー (PAK) ライセンスが含まれており、[CCW](#) での注文時にスマート アカウントをオプションにすることができます。詳細については、[Cisco ONE ソフトウェア](#)のページを参照してください。

### 2.7.6. Cisco ONE の注文に関する問題はどのようにエスカレーションできますか。

Cisco ONE ソフトウェアには、ソフトウェアの発注を支援する複数の地域ヘルプデスクがあります。

電子メールは次のとおりです。

- 南北アメリカ：[sw-ops-helpdeskamericas@cisco.com](mailto:sw-ops-helpdeskamericas@cisco.com)
- EMEAR：[sw-ops-helpdeskemear@cisco.com](mailto:sw-ops-helpdeskemear@cisco.com)
- APJ/GC：[sw-ops-helpdesk-apac@cisco.com](mailto:sw-ops-helpdesk-apac@cisco.com)

スマートアカウントの詳細については、[シスコスマートアカウント](#)のページを参照してください。

### 2.7.7. スマートライセンスの利点の 1 つは、ライセンスのポータビリティですが、ポータビリティはすべてのスマートライセンスに付与されますか、それとも Cisco ONE ライセンスにのみ付与されますか。

SWSS 契約が有効な Cisco ONE ライセンスでは、複数世代のハードウェア間でソフトウェアライセンスのポータビリティを利用できます。現在、Cisco ONE には、ハードウェアの世代を超えてライセンスを移植する機能があります。ただし、ポータビリティを実現するには、アクティブな SWSS の契約が必要です。

ポータビリティには次の 2 種類があります。

- **Like to-Like** ポータビリティ：ユーザは同じタイプのデバイスを多数持っており、デバイスをいろいろ移動します。このポータビリティのシナリオは、Cisco ONE だけでなくすべての人に拡張されています。
- **ポータビリティプラス**：世代を超えて移植され、類似しているが完全に同一ではない製品に拡張されます。そのためには、アクティブな Cisco ONE と SWSS サービスが必要です。

スマートライセンスは組織プールに入れられ、ユーザは 1 つの単一タイプのデバイスに割り当て/移動できます。Cisco ONE と SWSS は、世代を超えたポータビリティを提供します。

### 2.7.8. Cisco One の注文をスマート アカウントに割り当てるメリットは何ですか。

主な利点は、ライセンスを 1 つのアカウントに移行できることです。

副次的な利点：

- PAK の移動は個々のユーザに依存しません。

- PAK はスマートアカウントに割り当てられても失われません。
- 保証配信
- RMA の場合は再ホスト
- ライセンスを変換してスマート アカウントに入れることができます

### 2.7.9. パートナーとお客は、どのようなシナリオでオンデマンド PAK 統合を使用しますか。注文時にスマート アカウントに割り当てられていない PAK 用ですか。

Cisco One バンドルは、その設定により、注文設定に基づいて複数の PAK を生成し、お客は多数の PAK を取得します。つまり、使用と追跡のための多くの PAK です。

この点を考慮して、お客はシスコサポートに連絡し、複数の PAK を 1 つの PAK に統合することができます。これにより、お客側での使用と追跡が容易になります。

複数のハードウェアデバイス（例：100 台のスイッチとルータ）を購入する C1 の新規購入では、各デバイスが Cisco ONE Foundation の購入で構成されているため、お客は Prime Infrastructure などのコンポーネントの製品アクティベーションキーを 100 セット持つこととなります。この場合、お客は[サポートケース](#)からケースをオープンできます。

[マネージャ](#) (SCM) は、これら 100 件の Prime Infrastructure 購入を 1 つの製品アクティベーションキーに統合して、1 つのキーを使用するだけで、100 件の Prime Infrastructure エンドポイントライセンスを使用する権限を付与します。

## 2.8. 特定のライセンスの予約 (SLR)

### 2.8.1. セキュアなネットワークを運用しており、スマートライセンス対応製品の接続展開を実行できない場合はどうすればよいですか。

ライセンス予約モードでデバイスを運用できます。出荷時インストールまたは Cisco Smart Software Manager ポータルで設定をすることで、SLR (スマートライセンス予約) により、ライセンスを予約し、ライセンスプールに戻すまで特定の製品に割り当てることができます。定期的な使用状況レポートを提供するために、製品がシスコに接続される必要はありません。

### 2.8.2. 特定のライセンスの予約 (SLR) とは何ですか。

Specific License Reservation (SLR) は、非常にセキュリティの高いネットワークで使用される機能です。この機能により、お客は使用状況をシスコと同期通信することなく、デバイス (製品インスタンス) にスマートライセンスを展開できます。この方法の利点は、スマートライセンスの一部の利点は保持したまま、製品アクティベーションキー (PAK) / ライセンスファイルと同様の機能を使用できることです。



**Specific License Reservation (SLR)** では、ライセンスが余分にある場合に、永久ライセンスまたは期限付きのライセンスを予約できます。ユーザは、製品インスタンスで予約リクエストコードを生成し、**Smart Software Manager (SSM)** に入力します。ユーザはその製品インスタンスに「予約」するライセンスを指定し、**SSM** により生成される承認コードを製品インスタンスに入力します。

詳細については、次のトレーニング [「シスコソフトウェア：スマートソフトウェアライセンス、特定 ライセンス予約」](#) を参照してください。

### 2.8.3. 特定のライセンス予約のデメリットは何ですか。

ライセンスの予約によって、次のようなスマートライセンスの利点の多くが失われることに注意してください。

- 製品間のライセンス使用の動的な移動（障害時またはその他）
- ライセンスの使用状況に関する可視性と資産管理
- シンプル化された製品登録

**SSM** オンプレミスでは、最終製品をインターネットに接続する必要なしに、これらの利点が得られます。**SSM** オンプレミスは、ライセンス使用情報を集約し、直接または完全にエアギャップ方式でシスコに転送します。

### 2.8.4. 特定のライセンス予約はどのようにアクティブ化または有効化されますか。

**SLR** を有効化する下の手順に従ってください。

[Support Case Manager \(SCM\)](#) を使用してケースをオープンし、正当な理由を添えて、**SLR** の有効をリクエストします。以下の正当な理由と、スマート アカウント名およびドメイン ID を提示します。

- **SLR** を有効にする必要がある理由（つまりデータセンターのセキュリティ ポリシーなど）
- 当社では、**SLR** の使用に関するデメリットについて理解しており、シスコよりお客様に連絡し、確認をお願いする場合があります。

シスコ グローバル チームが上記のことについて確認および承認し、**SLR** を有効にします。

### 2.8.5. 予約済みライセンスの事前インストールまたは工場出荷時インストールとは何ですか。

ライセンスの予約に関するユーザエクスペリエンス向上のために、製品の **Specific License Reservation (SLR)** 承認コードを工場ですべて事前にインストールできます。お客様は、工場出荷時のインストール機能により承認コードを事前にインストールするように選択できるため、**Smart Software Manager** で承認コードを生成して手動でライセンスを予約する必要がありません。



特定のライセンス予約 (SLR) がスマート アカウントで有効になると、SA 管理者は SSM の [設定 (Preferences) ] タブに SLR 事前インストール ドロップダウン メニューを表示できるようになります (デフォルト: 無効)。

詳細については、次のトレーニング [「シスコソフトウェア: スマート ソフトウェア ライセンシング、特定 ライセンス予約」](#) を参照してください。

### 2.8.6. 製品インスタンスに予約されているライセンスをリホストすることはできますか。

さまざまな理由によりライセンス予約した製品で障害が起こったとき、お客様はこれらのライセンスへのアクセスを失います。この問題を解決するために、ライセンスを予約している製品インスタンスを再ホストする (これらのライセンスの代替製品を機能させる) ことができるようになりました。代替製品は、故障した製品によって予約されたものと同じ数と種類のライセンスを予約します。

詳細については、次のトレーニング [「シスコソフトウェア: スマート ソフトウェア ライセンシング、特定 ライセンス予約」](#) を参照してください。

## 3. 新しいライセンシングの方式: Smart Licensing Using Policy (SLP)

### 3.1. Smart Licensing Using Policy

#### 3.1.1 Smart Licensing Using Policy とは何ですか。

Smart Licensing Using Policy は、スマートライセンスの進化版です。IOS-XE 17.3.2/17.4.1 以降、これらのバージョンのソフトウェアを実行するすべての製品は、Smart Licensing Using Policy のみをサポートします。PAK および特定のライセンス予約 (SLR) キーは、アップグレードを通じて保持され、明示的に削除されない限りそのまま残ります。

Smart Licensing Using Policy により、お客様のデイゼロ運用が簡素化されます。製品は評価モードで起動せず、製品ソフトウェアごとの登録は不要で、30 日ごとに Cisco Cloud と継続的に通信する必要はありません。ただし、ライセンス使用の遵守にはソフトウェアレポートが必要です。次の方法でレポートを実行できます。

- シスコの工場から。すべての新規購入が注文のスマート アカウントを含む場合
- Cisco DNA Center オンプレミスコントローラの使用 (2020 年 12 月リリース)
- Smart Software Manager (SSM) オンプレミス (2021 年 2 月)
- Cisco Smart Licnesing Utility (CSLU) Lite - Windows アプリケーション
- サードパーティシステム用の API/CLI 経由
- スマート アカウントに直接

3.1.2. Smart Licensing Using Policy は、どのプラットフォームとソフトウェアリリースでサポートされますか。

Cisco Polaris IOS-XE リリース 17.3.2/17.4.1（2020 年 11 月 6 日の CCO を対象とする）以降のリリースでは、次のシスコ製品について Smart Licensing Using Policy がサポートされます。

- Cisco Catalyst 9000 シリーズ スイッチ。
- ASR1K、ISR1K、ISR4K などのルーティングプラットフォーム。
- Polaris IOS-XE リリース 17.4.1 以降の次世代仮想ルータ
- Cisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレス コントローラおよび AP。
- 産業用ルータ IR 1101、産業用イーサネット IE 3200/3300/3400、次世代 IoT 製品などの Internet of Things (IoT) 次世代プラットフォームでも、Smart Licensing Using Policy が採用されます。
- コラボレーション製品、11月リリースのCUBE、SRST、CME

3.1.3 スマートライセンスと Smart Licensing Using Policy の主な違いは何ですか。

必須評価モード	登録なし、評価モードなし
ソフトウェアの遵守のためにデバイスごとに実行する CSSM または SSM オンプレミスへのデイゼロ登録	適用されていないライセンスの変更は可能ですが、レポートが必要です
30 日ごとの継続的なライセンスレポート	変更時レポートポリシーとお客様固有レポートポリシー
オフラインのお客様向けの SLR/PLR	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ブラウンフィールド向け SLR/PLR をサポート</li> <li>2. グリーンフィールド向け SLR/PLR なし</li> <li>3. デフォルトでクローズドネットワークをサポート</li> </ol>
ソフトウェアの遵守は、使用前の製品ごとのアクティビティ要件です	ソフトウェアの遵守は変更時にのみ管理され、SW の遵守を支援する自動化ツールが提供されます
暗号化機能を有効にするためのエクスポート制御フラグ方式は、グローバルエクスポートトレードでの使用が承認されなくなりました。	設計は、US Commerce に 100% 準拠するためのグローバルエクスポートトレードソフトウェアの使用要件をサポートしています。

### 3.1.4. IOS-XE バージョン 17.3.2 の CSSM では、何が異なっていますか。

CSSM では、ユーザは使用前にデバイスを登録する必要がなくなります。ただし、自動レポートを設定するには、シスコツール、API レポート、または CSSM への信頼できる接続を使用する製品からの直接接続を使用できます。または、[レポート (Reporting)] タブと [使用状況データファイル (Usage Data Files)] タブの [使用状況データのアップロード (Upload Usage Data)] ボタンを使用して、ソフトウェア使用記録 (RUM レポート) を CSSM に直接手動でアップロードできます。ソフトウェア使用 RUM レポートを送信するには、アクティブなスマート アカウントが必要です。

### 3.1.5. レポートはどれほどの頻度で必要ですか。

永続的ライセンスの場合：

- a) レポートは、ソフトウェアの使用に変更があった場合にのみ、**90 日以内**に必要となります。
- b) ただし、ソフトウェアの使用に変更がない場合は、レポートは不要です。当社では、今後の正確なアカウントिंगのために、購入した資産に対するソフトウェア使用基準を確立する目的で、**Smart Licensing Using Policy** リリースにアップグレードされたすべての製品のソフトウェア使用レポートをアップロードすることを推奨します。

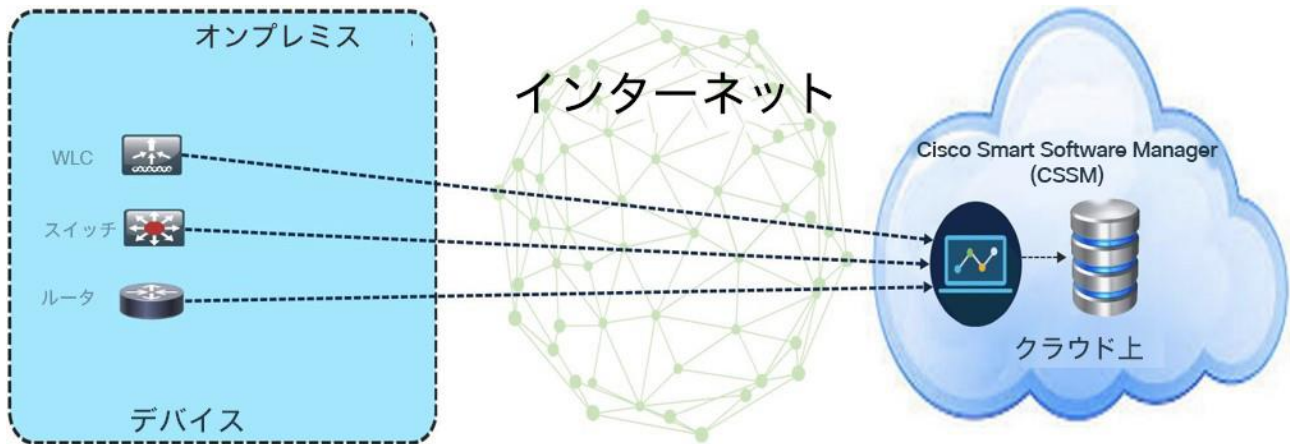
サブスクリプションライセンスの場合：

購入したソフトウェアの使用状況に変更がある場合は、**90 日以内**に報告する必要があります。エンタープライズ アグリーメント、調整アカウントिंगに基づく製品に対して **True-Forward** アカウントINGが行われ、過剰使用に対する見積りが請求用に準備されます。

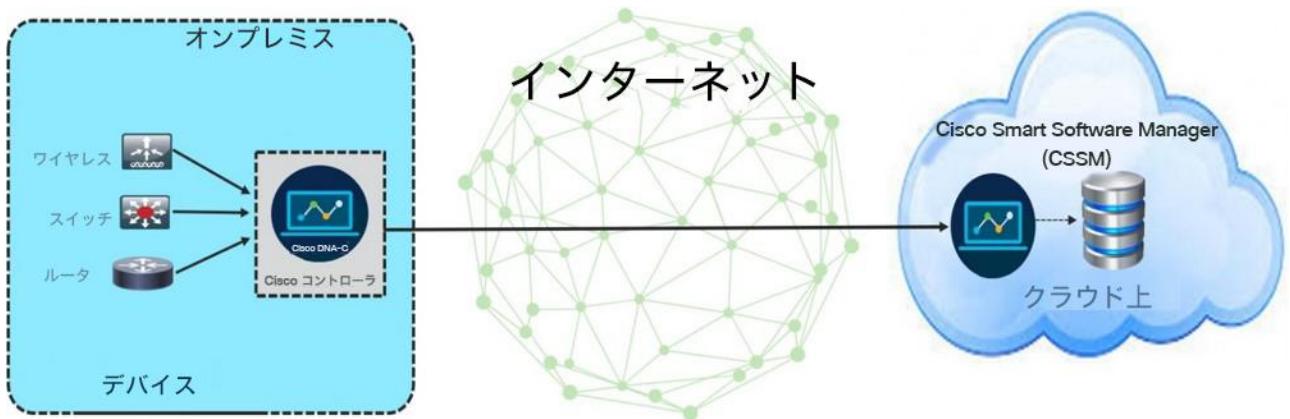
### 3.1.6. Cisco Smart Software Manager (CSSM) に接続するためにサポートされているトポロジは何ですか。

サポートされているトポロジは次のとおりです。

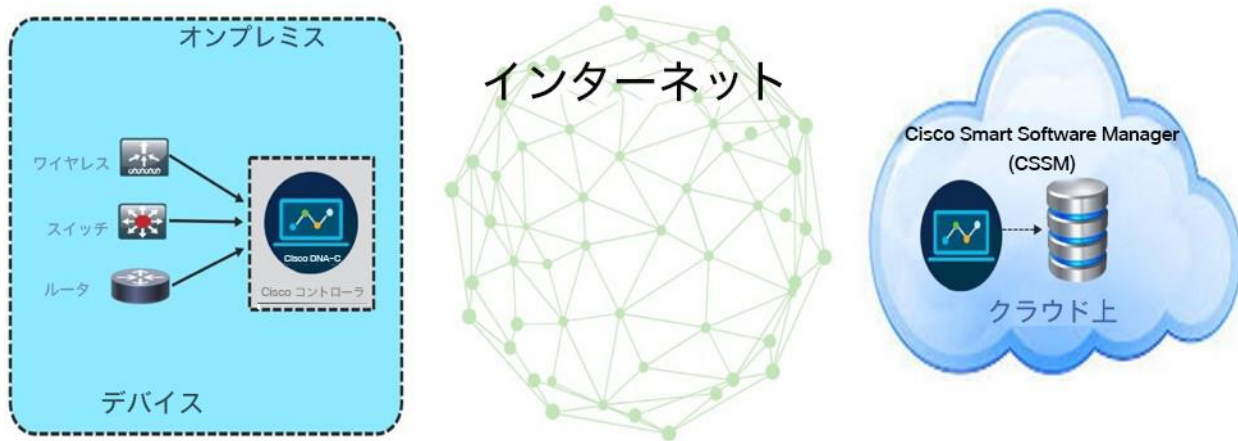
トポロジ 1：シスコデバイスから CSSM への直接接続。



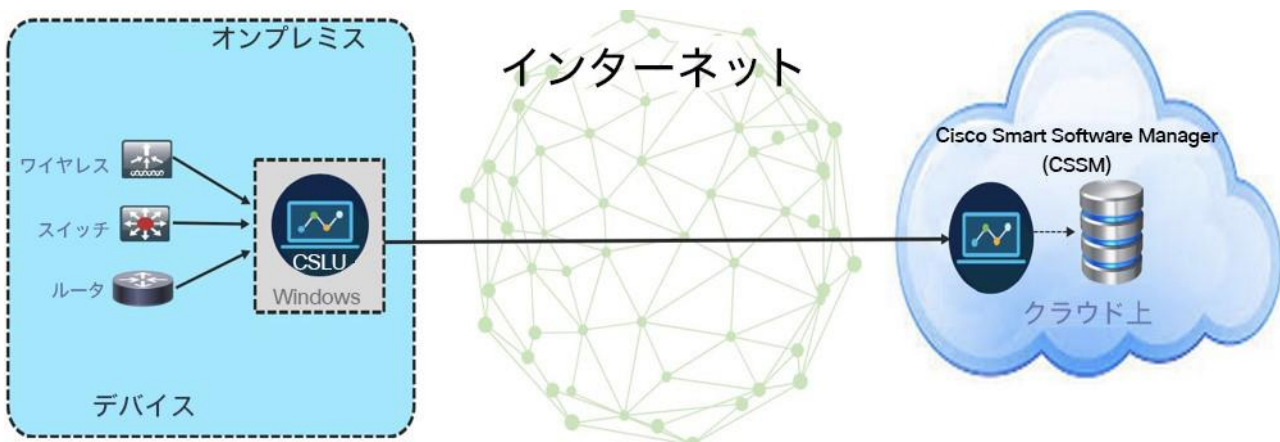
トポロジ 2 : Cisco DNAC を介して CSSM に接続されたシスコデバイス。



トポロジ 3 : シスコデバイスと Cisco DNAC が接続されているが、CSSM に接続されていない



トポロジ 4 : Cisco Smart License Utility (CSLU) (Windows アプリケーション) を介して CSSM に接続されたシスコデバイス。



トポロジ 5 : シスコデバイスと CSSM の間に接続がない





トポロジ 6：シスコデバイスがCSLU に接続されているが、CSSM に接続されていない。





### 3.1.7. お客様は、どのようにソフトウェア使用状況を報告しますか。

**Cisco Smart Licensing Using Policy** には、ソフトウェアの使用状況をレポートするための、オンラインモードとオフラインモードを使用するさまざまなレポートオプションが用意されています。

- 2021年に登場する **Cisco DNA Center** オンプレミス、**Cisco DNA Center** クラウド
- **SD WAN** の **vManage** (目標 2021 年)
- マネージド サービス アクセラレータ (**MSX**)
- レポートユーティリティ、**IOS-XE** (オフラインまたは直接接続エクスポート経由)
- **Cisco Smart License Utility (CSLU) Lite - Windows** アプリケーション
- **API** または **UI** ポータル経由で **CSSM** に直接接続

シスコのコントローラの支援により、お客様は **90** 日ごとにアプリケーションを実行してソフトウェア使用記録を取得し、**RUM** レポートをアップロードできます。

### 3.1.8. お客様はトラストトークンをインストールする必要がありますか。

いいえ。お客様が **CSSM** への直接接続を使用していない限り、1 回ごとに信頼できる情報交換が確立されます。

### 3.1.9. Cisco IOS-XE 17.3.2 リリース以降に移行した後、特定のライセンス予約 (SLR) /永久ライセンス予約 (PLR) キーは失われますか。

いいえ。**SLR/PLR** キーはソフトウェアアップグレード後も保持されます。明示的に削除された場合のみ削除されます。

### 3.1.10. お客様が、レガシーライセンスから、またはスマートライセンスから輸出管理対象外ソフトウェアの **Smart Licensing Using Policy** にアップグレードするとどうなりますか。

お客様が **PAK** (製品アクティベーションキー) や **RTU** (使用権) などのレガシーライセンスから、または **SL** (スマートライセンス) から **Smart Licensing Using Policy** にアップグレードする場合、運用上の変更はありません。すべてのキーはアップグレード中も保持されます。

### 3.1.11. スマート アカウント/バーチャル アカウントは、デフォルトでポリシーを使用してスマートライセンスに移行されますか。それともリクエストが必要ですか。

2020 年 11 月以降、スマートアカウント/バーチャルアカウントでは、**Smart Licensing Using Policy** 機能が有効になります。スマートアカウントの移行は不要です。

3.1.12. スマート アカウント内のすべてのバーチャル アカウントで、**Smart Licensing Using Policy** が有効になっていますか。

はい。

3.1.13. **Smart Licensing Using Policy** 対応スマート アカウント/バーチャル アカウントは、**Smart Licensing Using Policy** 以外のイメージを処理できますか。

はい。

3.1.14. **Smart Licensing Using Policy** 以外の **IOS-XE** (例：16.12 リリース) は、**Smart Licensing Using Policy** スマート アカウント/バーチャル アカウントに接続できますか。

はい。

3.1.15. 既存のソフトウェア サブスクリプション階層に変更はありますか。

いいえ。ソフトウェア サブスクリプションの階層は変わりません。

3.1.16 ソフトウェアバージョン 17.3.2 で **SL** を引き続き使用できますか。または、このリリース以降、**Smart Licensing Using Policy** のみである必要がありますか。**SL** を継続する場合、何がサポートされなくなりますか。

ソフトウェアバージョン 17.3.2 以降のデバイスでは、**Smart Licensing Using Policy** のみがサポートされます。次のように、**SL** ではサポートされないさまざまな機能があります。

- 評価なし、登録なし。
- エクスポート制御フラグが、米国の商取引を遵守なくなります。
- レポートの自動化を可能にする **API** と **CLI** の使用はサポートされません。
- **Cisco Smart Licensing Utility (CSLU) Windows** ツールによるソフトウェア使用レポート。
- 製品のタグ付け。
- **Cisco DNAC** アプライアンス。

### 3.1.18 Smart Licensing Using Policy に移行した後、最初のレポートを送信するまで最大どれくらいの時間がかけられますか。

永久ライセンスの場合、ソフトウェアの使用パッケージに変更があった場合に限り、**90日以内**にレポートが必要になります。ただし、ソフトウェアの使用に変更がない場合は、レポートは不要です。サブスクリプションライセンスの場合、購入した内容から変更がある場合は、**90日以内**にレポートが必要です。

### 3.1.19 Cisco DNA Essentials を使用する資格しかない場合に、お客様が Cisco DNA Advantage を有効にするとどうなりますか。

そのような場合、エンタープライズ アグリーメントの **True Forward** またはトランザクションの **True-Up** 請求イベントの **90日**前に、シスコへの新しいレポートが必要です。

### 3.1.20 スタックまたは高可用性 (HA) 構成に必要な承認コードの数はいくつですか。

スタック内のすべてのデバイスまたは **HA** 構成がシャーシから固有デバイス識別子 (UDI) を取得し、すべてのデバイスが同じ **UDI** を持つ、アクティブ/スタンバイルートプロセッサ構成では、承認コードが **UDI** に関連付けられているため、必要な承認コードは **1つ**だけです。

**UDI** が異なる場合、**Smart Licensing Using Policy** では、**UDI** を持つ **HA** 構成内の各デバイスが、その **UDI** に関連付けられた独自の承認コードを持つ必要があります。

アクティブスイッチは、すべてのスタックメンバーについて以下を確認します。

- 同じ権限
- 同じ数
- 同じ期間

不一致がある場合、アクティブスイッチは、スマートエージェント **HA** が正しく設定されていないことを示すエラー **syslog** を週に **1回**送信します。

### 3.1.21 誰がポリシーを決定しますか。また、1 台のデバイスにいくつのポリシーを適用できますか。

**CSSM** は、製品に適用されるポリシーを決定します。特定の時点で使用されているポリシーは **1つ**だけです。

### 3.1.22. ポリシーはハード要件ですか。

ポリシーはシスコからの要件です。これはデバイスのソフト要件であり、機能制限ではありません。ただし、CUBE (Voice) などの機能では、ACK は必須の要件/機能制限です。

### 3.1.23. Cisco Smart Licensing Utility (CSLU) とは何ですか。

Cisco Smart Licensing Utility (CSLU) は、シスコ製品からのソフトウェア使用状況レポートの受信または収集を自動化し、ソフトウェア使用状況を Cisco Smart Software Manager (CSSM) のスマート アカウントに報告するために使用される Windows アプリケーションです。また、1 つまたは複数の製品に必要な、製品ごとに輸出規制対象ソフトウェア承認コードを管理することもできます。

### 3.1.24. CSLU をインストールするための最小 Windows システム要件は何ですか。

コンポーネント	最小	推奨
ハードディスク	100 GB	200 GB
RAM	8 GB	8 GB
CPU	x86 デュアルコア	x86 クワッドコア
イーサネット NIC	1	1

### 3.1.25 CSLU の主な機能は何ですか。

- 製品インスタンスからプッシュモードまたはプルモードでライセンス使用状況レポートを収集します。
- 課金情報および分析のために使用状況レポートを CSSM に保存および転送します。
- CSSM からポリシーと承認コードを取得します。
- スタンドアロンのマイクロサービスとして展開できます。
  - Windows ホスト (最大 10,000 製品インスタンス (PI) )
- ソフトウェア コンポーネントとしてコントローラベースの製品と統合することもできます。
  - Cisco DNAC
  - 製品インスタンス (PI) では
- マイクロサービスの展開方法に関係なく、ライセンスデータのオンラインまたはオフライン接続モデルを提供できます。

### 3.1.26. CSLU の主な機能は何ですか。

CSLU レポート形式は、ISO 19770-4 標準 RUM レポート形式に基づいています。JSON 形式で提供され、信頼モデルごとに署名されます。

### 3.1.27. ソフトウェア使用レポートを収集するためのさまざまなツールにはどのようなものがありますか。

お客様は、YANG モデルで利用可能なさまざまな API のセットを使用できます。また、コマンドライン インターフェイス (CLI) と SNMP (MIB 経由) を使用して、レポートに使用するソフトウェアを収集することもできます。

### 3.1.28. シスコはどのようなデータを取得しますか。

Smart Licensing Using Policy をサポートする各シスコ製品のソフトウェア調整に必要なデータフィールドを以下に示します。

UDI	ハードウェア製品シリアル番号
SN	ソフトウェア固有 ID シリアル番号
ソフトウェアパッケージと登録 ID	ソフトウェア製品パッケージおよび権限付与タグ
カウント	ライセンス権限ごとのソフトウェア使用カウント
タイムスタンプ	ソフトウェア利用資格ごとの変更と使用

以下は、Smart Licensing Using Policy をサポートする各シスコ製品のソフトウェア調整用オプションのデータフィールドです。

SA-VA レベル 1	例：エンティティ (SA にマップ)
SA-VA レベル 2	例：GEO (SA にマップ)
SA-VA レベル 3	例：部門 (SA にマップ)
SA-VA レベル 4	例：建物 (SA にマップ)
SA-VA レベル 5	例：ルーム (SA にマップ)
フリーフォーム	データがシスコに戻らない
フリーフォーム	データがシスコに戻らない

(SA = スマート アカウント、VA = バーチャル アカウント)

### 3.1.29 Smart Licensing Using Policy はどのようにデバイス交換（RMA）と連携しますか。

お客様がシスコのコントローラを介して CSSM に接続している場合、レポートポリシーはシスコのコントローラによって管理され、または、Cisco TAC を利用して手動で実行することもできます。お客様が自由形式フィールド内で製品インスタンスごとに特定した代替品：オプションデポの利用規約

- ECCN（エクスポート制御分類番号）に基づき、貿易規制対象のハードウェアおよびソフトウェアの通常のプロセスに依存する
- 構成センタープロセスは、標準的な取引管理 PRR チェックに従う

### 3.1.30 ライセンスの機能制限タイプはどんなものがありますか。

機能制限タイプは、ライセンスを使用する前に認証が必要かどうかを示します。ライセンス適用には次の 3 つのタイプがあります。

- Unenforced**：Unenforced ライセンスは、エアギャップネットワークで使用する前に認証を必要とせず、また接続されたネットワークでの登録を必要としません。このようなライセンスの使用条件は、シスコエンドユーザーライセンス契約（[EULA](#)）に従います。
- Enforced**：この Enforced タイプに属するライセンスは、使用前に認証が必要です。必要な承認は承認コードの形式であり、対応する製品インスタンスにインストールする必要があります。適用ライセンスの例としては、Media Redundancy Protocol (MRP) クライアントライセンスがあります。これは、シスコの産業用イーサネットスイッチで利用できます。
- Export-Controlled**：この適用タイプに属するライセンスは、米国の取引規制法によって輸出規制されており、使用前に認可が必要です。これらのライセンスに対応する製品インスタンスにも、必要な承認コードをインストールする必要があります。シスコは、ハードウェアの購入時に発注した輸出規制ライセンスをプリインストールすることができます。輸出規制対象のライセンスの例としては、High Security (HSECK9) ライセンスがあり、特定のシスコルータで使用できます。

## 3.2. 輸出規制ソフトウェア

### 3.2.1 お客様が輸出規制対象のソフトウェアを備えた新しいハードウェアを注文するとどうなりますか。

貿易管理規制に従い、UDI またはシリアル番号ごとに承認コードが必要です。この承認コードは、輸出規制対象ソフトウェアの使用を必要とする製品ごとにシスコの工場にインストールされます。この承認コードは、ソフトウェアをアップグレードしても保持されます。



### 3.2.2. お客様が既存のハードウェアおよびソフトウェア用に新しい輸出規制対象ソフトウェアを購入するとどうなりますか。

貿易管理規制に従い、UDI またはシリアル番号ごとに承認コードが必要です。ワークフローを自動化するシスコのツールまたは API を利用できます。

### 3.2.3. お客様は、貿易管理対象ソフトウェアレポート ACK ファイルをどのように使用しますか。

お客様は、貿易管理対象ソフトウェアを使用してデバイスからライセンス使用レポートを収集し、RUM レポートを Cisco スマートアカウントにアップロードします。RUM レポートがアップロードされると、CSSM は ACK ファイルに埋め込まれるスマートライセンス承認コードを生成します。お客様はこの ACK ファイルをデバイスにインストールできます。

### 3.2.4. スマートライセンス承認コード (SLAC) とは何ですか。

スマートライセンスでは、スマート アカウントごとに指定されるエクスポート制御フラグを使用して、エクスポート制御機能が実装されていました。エクスポート制御フラグが設定されたスマート アカウントに登録されているシスコ製品では、250M を超えるスループットを設定できます。ただし、現在の輸出規制では、250M を超えるスループットには、UDI に関連付けられたスマートライセンス承認コード (SLAC) が必要です。

### 3.2.5. お客様がディストリビュータからハードウェアを購入するとどうなりますか。

ディストリビュータは、アクティブなスマート アカウントがなくても、常にハードウェアの在庫を保持しています。お客様がディストリビュータからハードウェアとソフトウェアを購入すると、ソフトウェアイメージにはデフォルトで 90 日以内にレポートが必要なポリシーが付属します。永続的ライセンスに関する最初のレポートは、ハードウェアとソフトウェアがシスコの製造を終了するときに満たされます。お客様は、デイゼロ構成やインターネットへの接続なしで、ハードウェアとソフトウェアの使用を開始できます。お客様は、CSSM からポリシーをダウンロードし、デバイスに適用することもできます。

## 3.3. Smart Software Manager (SSM) オンプレミスサーバ

### 3.3.1 Smart Licensing Using Policy をサポートするのはどのバージョンの SSM オンプレミスですか。

Smart Licensing Using Policy をサポートする SSM オンプレミスは、2021 年 2 月にリリース予定のバージョン 8-202012 で利用できます。

### 3.4. Cisco DNA Center での Smart Licensing Using Policy

#### 3.4.1 Cisco DNA-Center の新機能は何ですか。

Cisco DNA-Center は、Smart Licensing Using Policy をサポートします。

レポート	オンラインとオフラインの両方の方法で、すべてのソフトウェア使用コンプライアンスレポートを管理
輸出規制ソフトウェア	購入した輸出規制対象ソフトウェア (HSECなど) に必要な認証コードを管理
レガシー管理	移行シナリオでの RTU、PAK、スマートライセンス (SLR / PLR を含む) および SLE の使用 (スマートライセンスの拡張) の管理
テレメトリ	製品のデータとタグ付けにより、必要な情報が可能

#### 3.4.2 Cisco DNA-Center の適用戦略は何ですか。

現在は、アラートに表示される通知を使用したソフト適用のみが行われており、購入したソフトウェアの遵守と使用中のソフトウェアの遵守のギャップが UI に表示されます。

## 4. その他のリソース

### 4.1. トレーニングリソースと追加情報

#### 4.1.1. その他のトレーニング用資料はどこにありますか。

次の追加リソースを活用できます。

- [Cisco スマートアカウントの概要](#)：スマート アカウントの紹介、短いトレーニングビデオの視聴、その他のリソースへのアクセス
- [シスコ スマート ソフトウェア ライセンスの概要](#)：スマート ソフトウェア ライセンスの詳細、その他のリソースへのアクセス
- [Cisco Smart Software Manager の概要](#)：Smart Software Manager の詳細、短いトレーニングビデオの視聴、その他のリソースへのアクセス
- [Smart Software Manager オンプレミス](#)：Smart Software Manager オンプレミスの詳細、追加リソースおよび詳細なユーザドキュメント（ユーザガイド、インストールガイドなど）へのアクセス

#### 4.1.2. トレーニングにはどのようにサインアップできますか。

[シスコ ソフトウェア トレーニング スケジュール](#)に移動すると、  該当する地域（AMER、EMEAR、APJ GC）の現在のトレーニングスケジュールが見つかります。

[ライブトレーニングセッションをリクエスト](#)できます。

## 5. プライバシーおよびデータ保護

### 5.1. スマート アカウント：プライバシーとデータ保護

5.1.1. 企業内のスマートアカウント管理者の連絡先情報はパートナーに開示していますか。

いいえ。スマートアカウント管理者の連絡先情報は社内の従業員にのみ開示されます。その連絡先情報を第三者にも開示するかを決められるのはお客様だけです。

5.1.2. シスコ社内では、スマート アカウントに関連付けられた顧客やユーザの情報をどのように管理および保守していますか。

お客様のスマート アカウントの作成と管理をサポートするシスコ社内の従業員やサポート担当者が、一定の役割と責任の下でお客様データへのアクセスを管理しています。また、この体制は社内のサービスオーナーによって定期的に検証されています。

5.1.3. スマート アカウントにより、お客様はそれぞれの資産と使用权をどのように管理して保護できますか。

**Cisco** スマートアカウントは、お客様やパートナーが管理するソフトウェア ライセンス資産の管理時間を節約する新しい方法です。

お客様は、**Cisco.com Web** サイトのアカウントを通じて、組織全体のすべての **Cisco** ソフトウェアライセンス/権限へのアクセスを表示および制御し、それに応じて情報の使用を管理できます。

スマート アカウントの導入以前は、ライセンス/権限の可視性を得るために個別のシスコ ID が必要でした。このため、組織全体でライセンスを把握し、管理する手段が限られていました。

スマート アカウントでは、お客様は組織内の部門、地域、場所ごとにライセンス/権限を管理するためのサブアカウント（バーチャル アカウント）を柔軟に作成できます。ライセンス/権限は、必要に応じてバーチャルアカウント内でプールすることができます。

スマート アカウントでは、ロールベースのユーザアクセス制御が利用でき、これにより、スマートアカウント管理者は、スマート アカウント レベルまたはバーチャル アカウント レベルで、その他のユーザに権限を付与できます。さらに、お客様は、バーチャル アカウントまたはエンタープライズ レベル スマート アカウントにパートナーの可視性と管理権限を管理することができます。パートナーには、ソフトウェアライセンス管理の目的で、スマート アカウント全体または特定のバーチャル アカウントへのアクセス権が付与されます。詳細は[こちら](#)をクリックしてください。

#### 5.1.4. 権限がスマート アカウントにデポジットされた後、パートナーはお客様のスマート アカウントにアクセスできますか。

パートナーやシステムインテグレータなどの第三者は、お客様からアクセス権を提供された場合にのみ、お客様のスマート アカウントにアクセスできます。提供するアクセス権は、スマート アカウント全体を対象にすることも、お客様が選択したバーチャル アカウント（スマート アカウントのフォルダ）だけに限定することもできます。

すべてお客様次第です。

承認ユーザのリストにパートナーの連絡先を追加するだけで、それぞれのスマート アカウントに対する全面的なアクセス権をパートナーに提供できます。スマート アカウントの初期セットアップ時か、[software.cisco.com](https://software.cisco.com) で「**Manage Smart Account**」アプリケーションを開いた際に、この操作を行います。

#### 5.1.5. お客様が、2 社のパートナーから別々にライセンスを購入した場合、各パートナーはすべてを合わせた権限をスマート アカウントで確認できますか。

パートナーに付与するアクセス権はスマート アカウント全体を対象にすることもできますが、一部（特定のバーチャル アカウント）に限定することもできます。

#### 5.1.6. 管理者の退社や社内の別の役割への配置転換があった場合に、新しい管理者をオンボーディングしたり権限へのアクセスを継続したりするにはどうすればよいですか。

一般的なベストプラクティスは、複数のスマートアカウント管理者を定義しておくことです。

既存の管理者であれば、[software.cisco.com](https://software.cisco.com) の「**Manage Smart Account**」アプリケーションを使用して、新規の管理者を作成することも、既存のユーザを管理者ロールに昇格させることもできます。

最後の管理者が退社した場合は、[Support Case Manager](#)（SCM）でケースをオープンにして、スマートアカウントの新しい管理者を定義してもらうようリクエストできます。

#### 5.1.7. スマート アカウントのライセンスと使用权に、組織内の複数の個人がアクセスできますか。

できます。スマート アカウントには必要な数の管理者またはユーザを追加できます。各ユーザまたは管理者は、必要に応じて、スマート アカウント全体または個々のバーチャル アカウントのいずれかにアクセスできます。追加のユーザは、スマート アカウントのセットアップ時に定義することも、[software.cisco.com](https://software.cisco.com) で「**Manage Smart Account**」アプリケーションから定義することもできます。

5.1.8. ユーザがスマート アカウントから誤って削除された場合、そのユーザを回復または復元するにはどうすればよいですか。

2つの方法があります。

1. スマートアカウント管理者は、[software.cisco.com](https://software.cisco.com) の「**Manage Smart Account**」アプリケーションにアクセスして、スマート アカウントからユーザを追加/削除/変更/復元できます。
2. 誤って削除されたユーザは、[software.cisco.com](https://software.cisco.com) の [既存のスマート アカウントへのアクセスのリクエスト (**Request Access to an Existing Smart Account**) ] アプリケーションにアクセスして、スマート アカウントへのアクセスをリクエストできます。

5.1.9. スマート アカウントのライセンス/権限を誤って削除してしまうことはあり得ますか。ライセンスまたは権限は、スマート アカウントにデポジットされると、ユーザまたは管理者がスマート アカウントから削除または消去することはできません。

スマート アカウントのライセンス/権限を削除できるのは、シスコのサポートチームのみです。

5.1.10. スマート ソフトウェア ライセンスとスマート アカウント管理により、組織は GDPR に準拠しますか。

1 つの製品やアプリケーションだけでは、組織が **GDPR** に準拠したことにはなりません。**GDPR** はプライバシーに関するベストプラクティスを法的に体現したものであり、個人データを処理する際の透明性、公平性、および説明責任を要求しています。**GDPR** はプライバシーバイデザインおよびプライバシーバイデフォルトの概念を推進しています。組織（データ管理者）またはそれを代理する外部の組織（データ処理者）が実施するすべてのデータ処理活動に、プライバシーとデータの保護を組み込み、統合しなければなりません。これは、個人の権利を尊重し、プロセスを保護し、リスクを管理しようとするものです。適切に適用された技術ソリューションによって成功を確実にすることができます。たとえば、スマート ソフトウェア ライセンスおよびスマート アカウント管理を使用して、クラウド上のどこに、どんな個人データが保存されているかを把握し、アカウントの乗っ取りを示す不審なユーザアクティビティに関するアラートを受け取ることにより、お客様はセキュリティレベルを高めることができます。

5.2. スマート ソフトウェア ライセンスおよびスマート アカウント プライバシー データ シート

[スマートソフトウェアライセンスツールおよびスマート アカウント管理 プライバシーデータシートは、\*\*Cisco.com\*\* で入手できます。](#)